

令和元年度第19回 地域連携推進機構運営会議 議事次第

日 時：令和2年2月10日（月） 10：00～12：00

場 所：本部管理棟 2階 第二会議室

【議題】

＜審議事項＞		資料番号
1	令和2年度非常勤講師の採用について	審議1
2	科目認証に係る追加申請について	審議2
3	令和2年度公開講座について	審議3
4	重点施策経費事業における「共同研究実績の見える化」について	審議4
5	その他	
＜報告事項＞		
1	各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について	報告1
2	その他	

※参考資料

- ・ 地域連携推進機構運営会議 委員名簿（令和元年11月11日時点）（参考資料1）

※今後の日程（予定）

- ・ 第20回 … 3月 9日（月） 10：00～12：00 於：本部管理棟 2階 第二会議室

令和元年度第18回 地域連携推進機構運営会議

議事要旨（案）

日 時：令和2年1月20日（月） 10:00～11:30

場 所：大学本部棟2階 第二会議室

出席者：牛窪 潔（機構長）、竹村 明洋（副機構長 兼 産学官連携部門長）、畑中 寛（地域連携企画室 特命准教授）、島袋 亮道（地域連携企画室 特命准教授）、小島 肇（地域連携企画室 特命准教授）、柴田 聡史（生涯学習推進部門 准教授）、眞榮平 孝裕（産学官連携部門 教授（併任））、新田 早苗（総合企画戦略部長）、金城 徹（総合企画戦略部 地域連携推進課長）

欠席者：背戸 博史（地域連携企画室長 兼 生涯学習推進部門長）、瀬名波 出（産学官連携部門 教授（併任））

陪席者：嘉目 克彦（監事）、崎山 英樹（課長代理（併）企画係長）、與儀 あゆみ（産学連携推進係長）、赤嶺 雅哉（地域連携推進係長）、金城 まなみ（企画係主任）、田頭 明子（地域連携推進係主任）、天願 翔太（産学連携推進係員）、照喜名 佑悟（企画係員）

<審議事項>

議長から、次の8件の事項について審議を行う旨提案があり、説明の上、審議を行った。

1. 国立大学法人琉球大学地域連携推進機構規則の一部改正について

牛窪機構長から、資料（審議1）に基づき、国立大学法人琉球大学地域連携推進機構規則の一部改正（案）について説明があった。

主な意見は以下のとおり。

- ・第20条の地域連携推進協議会の条文について、全学的な事項に関して外部の客観的な評価を頂くのか、もしくは機構の活動に関して外部からの評価を頂くのかが不明瞭である。前者であれば文言を修正する必要があるのではないか。（柴田教授）
- ・琉大イノベーションイニシアティブについては、現段階では方針・方向性が明確に出されていないため、この規則案では除外して考えた。方針が明確に出されたときに、規則案をどうしていくかという話も出てくるが、現段階ではこのような書きぶりとした。（金城課長）

審議の結果、提案のとおり了承された。

2. 全学自己点検・評価会議における中期目標・中期計画の進捗確認について

崎山課長代理から、資料（審議2）に基づき、全学自己点検・評価会議における中期目標・中期計画の進捗確認について説明があった。審議の結果、提案のとおり了承された。

3. 令和2年度年度計画（案）の作成について

崎山課長代理から、資料（審議3）に基づき、令和2年度年度計画（案）の作成について説明があった。審議の結果、提案のとおり了承された。

4. 鹿児島大学との意見交換会について

竹村部門長から、資料（審議4）に基づき、両機構の交流を図るため、鹿児島大学南九州南西諸

島域共生機構との意見交換会を開催することについて説明があった。審議の結果、提案のとおり了承された。

5. 非常勤講師の資格審査について

小島特命准教授から、資料（審議5）に基づき、非常勤講師の資格審査について説明があった。審議の結果、提案のとおり了承された。

6. 重点施策事業における取組について

島袋特命准教授から、資料（審議6）に基づき、重点施策事業に係る提案2件（共同研究強化に関するセミナー開催・平成30年度共同研究実績一覧（案））について説明があった。竹村部門長より共同研究実績一覧（案）の見える化について、職位単位やコース単位での開示であればハードルは下がるのではないかと意見があった。

7. 令和2年度公開授業について

赤嶺係長から、資料（審議7）に基づき、令和2年度公開授業について説明があった。審議の結果、前後期併せて101の公開授業について提案のとおり了承された。

8. 令和2年度公開講座について

赤嶺係長から、資料（審議8）に基づき、令和2年度公開講座について、内容の再確認の必要性があるため、また公開講座数が多いため、次回2月の運営会議にて再度諮る旨の申し出があった。審議の結果、2月の運営会議にて再度諮ることとなった。

<報告事項>

1. 第3回未来共創フォーラムの開催について

金城課長から、資料（報告1）に基づき、第3回未来共創フォーラムの開始について、報告があった。北部の国頭キャンパス、大宜味キャンパス及び名桜大学にて配信する予定である旨の説明があった。

2. 琉球大学地域連携FD・SD研修会の開催について

畑中特命准教授から、資料（報告2）に基づき、地域連携FD・SD研修会の開催について、報告があった。大学コンソーシアムを通じて他の大学の教職員にも案内をすること、一般の方の参加も受け付けることの説明があった。

3. 琉大イノベーションイニシアティブ（仮称）の設置について

牛窪理事から、資料（報告3）に基づき、琉大イノベーションイニシアティブ（仮称）の設置のための検討を始めることについて検討メンバー等の報告があった。検討ワーキンググループは木暮研究企画担当理事、牛窪地域社会連携担当理事、山平学長補佐、竹村副学長、平良課長、大塚課長、金城課長のメンバーで組織されることの説明があった。

4. 各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について

各室・部門から、資料（報告4）に基づき、それぞれ報告があった。

令和2年2月4日

非常勤講師の採用について

1. 非常勤講師採用予定者

総合特別講義Ⅵ「クラウドファンディング実践講座」

- ・ 沖縄市経済文化部観光振興課 主幹 ^{みやざと}宮 里 ^{だいや}大八 (新規)

総合特別講義Ⅷ「ファシリテーションの技法と地域振興」

- ・ 協働促進社代表 ^{ひらい}平井 ^{ただし}雅 (継続)

総合特別講義Ⅸ「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」

- ・ 公益財団法人みらいふあんど沖縄副代表理事 ^{たいら}平良 ^{とうせい}斗星 (継続)

2. 採用理由

目的別人材育成プログラムとして開講する共通教育科目3科目について、上記3名の非常勤講師を採用する。

新規採用の宮里氏(クラウドファンディング)は、令和元年度もゲストティーチャーとして科目を担当いただいている。

また、継続採用の平良氏(地域円卓会議)と平井氏(ファシリテーション)いずれも、令和元年度も非常勤講師として科目を担当いただいております、受講生からの評価も高い。

■ ■ 科目番号			
総96			
■ ■ 開講年度	■ ■ 開講学期	■ ■ 曜日時限	■ ■ 開講学部等
2019	後学期	土3	共通教育等科目総合科目
■ ■ 講義コード	■ ■ 科目名[英文名]	■ ■ 単位数	
101284002	総合特別講義Ⅵ 「クラウドファンディング実践講座」	2	
■ ■ 担当教員[ローマ字表記]			
畑中 寛 [Hiroshi Hatanaka]			

授業の形態

講義、演習又は実験

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

本講座では、地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達手法である「クラウドファンディング」という手法で商品開発、サービス提供などの事業プランニングの手法を学習します。

受講生には、本講義を通じて地域づくりに取り組むコンセプト、事業プランニング、ソーシャルメディア戦略などを、受講生一人一人が考え、実際にクラウドファンディングを立ち上げることができるように取り組みます。

また、本講座では、学内教員による講義に加え、県内にてクラウドファンディングを運営する機関、クラウドファンディングのコーディネート役割を担うキュレーターによる実践的なプロジェクトの立ち上げ方法についても学びます。県内からの講師を招聘し、クラウドファンディングの成功・失敗事例、クラウドファンディングをコーディネートするキュレーターの育成を行いながら、クラウドファンディングの実践力をつけていきます。

さらに本講義は、地域課題だけでなく他の事例を学び、相互の交流を行うための学びの場を提供します。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

(1) 地域における課題を抽出し、地域への想いを形にしていけるプロセスについて理解を深める。

[社会性] [地域・国際性] [専門性]

(2) 「コンセプトファースト」という考えから新しいことをはじめる気づきを与え、地域連携や社会貢献のあり方について理解する。

[社会性][地域・国際性][専門性]

(3) 地域の課題について主体的に考えることができ、クラウドファンディングを活用した実践的な活動ができるようになる。

[自律性] [社会性] [地域・国際性] [問題解決力] [情報リテラシー]

評価基準と評価方法

【評価基準】

(1) 地域の課題を把握し、実践的な活動に繋げることができるか。

(2) 他者と協力して課題を設定し、情報収集・分析してその結果を分かりやすく文章・口頭で説明できるか。

【評価方法】

(1) 各授業の後に提出する振り返りシート 40%

(2) グループプロジェクトのレポートおよびプレゼンテーション 30%

(3) 質疑応答・討論への参加・態度 30%

履修条件

特になし。

授業計画

■場所／地域国際学習センター 301 講義室

第3クォーターにて実施するため、土曜日の午後から3コマ実施する。

10/5（土）13：00～14：30 第1回：オリエンテーション、「クラウドファンディングの国内外の潮流」
畑中寛（琉球大学地域連携推進機構特命准教授）、宮里大八

10/5（土）14：40～16：10 第2回：沖縄における地域課題の探索と新たな資金調達の方法
能塚善之（一般社団法人沖縄ビジネスインキュベーションプラザ代表）

10/5（土）16：20～17：50 第3回：学生によるクラウドファンディングの取組事例
岩渕裕子（沖縄ガールズビレッジ代表）

10/19（土）13：00～14：30 第4回：クラウドファンディングのコンセプトづくり①
能塚善之（一般社団法人沖縄ビジネスインキュベーションプラザ代表）

10/19（土）14：40～16：10 第5回：クラウドファンディングのコンセプトづくり①
能塚善之（一般社団法人沖縄ビジネスインキュベーションプラザ代表）

10/19（土）16：20～17：50 第6回：クラウドファンディングのプランニング
岩渕裕子（沖縄ガールズビレッジ代表）

11/2（土）13：00～14：30 第7回：クラウドファンディングの設定と公開準備
能塚善之（一般社団法人沖縄ビジネスインキュベーションプラザ代表）

11/2（土）14：40～16：10 第8回：クラウドファンディングのエントリー準備
能塚善之（一般社団法人沖縄ビジネスインキュベーションプラザ代表）

11/2（土）16：20～17：50 第9回：クラウドファンディングのエントリー
岩渕裕子（沖縄ガールズビレッジ代表）

11/16（土）13：00～14：30 第10回：クラウドファンディングの共感を呼び込むSNSの活用法①
畑中寛（琉球大学地域連携推進機構特命准教授）、宮里大八

11/16（土）14：40～16：10 第11回：クラウドファンディングの共感を呼び込むSNSの活用法②
能塚善之（一般社団法人沖縄ビジネスインキュベーションプラザ代表）

11/16（土）16：20～17：50 第12回：クラウドファンディングの共感を呼び込むSNSの活用法③
岩渕裕子（沖縄ガールズビレッジ代表）

11/30（土）13：00～14：30 第13回：クラウドファンディングのプレゼンテーション準備
能塚善之（一般社団法人沖縄ビジネスインキュベーションプラザ代表）

11/30（土）14：40～16：10 第14回：クラウドファンディングのプレゼンテーション
岩渕裕子（沖縄ガールズビレッジ代表）

11/30（土）16：20～17：50 第15回：クラウドファンディングの成果報告
畑中寛（琉球大学地域連携推進機構特命准教授）、宮里大八

定期試験 なし

■ 事前学習

事前学習：

- ・授業前までに配布された教材を読んでおく。

■ 事後学習

事後学習：

- ・グループメンバーと協力してプロジェクトを遂行する。

■ 教科書にかかわる情報

■ 教科書全体備考

各回の講義の中で紹介する。

■ ■ 参考書にかかわる情報

■ ■ 参考書全体備考

各回の講義の中で紹介する。

■ ■ 使用言語

日本語

■ ■ メッセージ

地域の課題解決等に取り組む団体、NPO法人や社会貢献活動を行う企業等にも公開授業として社会人にも提供します。

■ ■ オフィスアワー

下記のメールアドレスに連絡の上、アポを取るようお願いします。場所は地域国際学習センター3階305。（畑中 寛）

■ ■ メールアドレス

畑中 寛（hiroshi@cs.u-ryukyu.ac.jp）

■ ■ URL

<https://faavo.jp/naha>

■ ■ 科目番号			
総98			
■ ■ 開講年度	■ ■ 開講学期	■ ■ 曜日時限	■ ■ 開講学部等
2019	後学期	その他	共通教育等科目総合科目
■ ■ 講義コード	■ ■ 科目名[英文名]	■ ■ 単位数	
101286002	総合特別講義Ⅷ「ファシリテーションの技法と地域振興」		2
■ ■ 担当教員[ローマ字表記]			
畑中 寛 [Hiroshi Hatanaka]			

授業の形態

講義、演習又は実験、実務経験講師

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ

授業内容と方法

本科目では、地域振興及び地域課題解決に活かせるファシリテーションの考え方と技法について座学とグループワークを通して詳しく学ぶとともに、観光まちづくりの動向についても座学と現場視察を行う。
これらを通して、地域振興や地域課題解決の現場で実践できるようになるためのファシリテーション力やコミュニケーション力を身に付けることを目的とする。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

ファシリテーションとは何かについての専門的知識の習得に加え、ファシリテーション能力及びコミュニケーション能力の獲得を目的とする。

1. ファシリテーションの理論と技法を理解し、実践できるようになる[専門性]
2. 参加者との信頼関係を築き、意見を引き出して合意形成につなげられるようになる[コミュニケーション・スキル]
3. 地域の現状を観察して課題を抽出し、解決に向けたプロセスを組み立てられるようになる[社会性]
4. ステークホルダーの多様な価値観・考え方を受け入れて活かしながら地域振興に向けた流れを作ることができるようになる[地域・国際性]
5. 参加者の多様な能力を活かし、課題解決に受けた動きを作れるようになる[問題解決力]

評価基準と評価方法

1. ファシリテーションスキル

グループワークにおいて、ファシリテーションの基礎を理解しながら、参加者の発言を引き出し、意見を整理し、その中から地域の現状と課題を抽出し、その解決に向けた合意形成の流れをつくれるかどうか。

2. ファシリテーションマインド

参加者の多様な価値観と考え方をリスペクトして受容し、それぞれの可能性と能力を最大限に活かして課題解決につなげていく機運を醸成できるかどうか。

3. 「地域との協働」の能力を上記1と2を含め総合的に勘案する。

履修条件

特になし。

授業計画

□教室 11/9・12/7：地域創生総合研究棟1階 産学官交流フロア(多目的ホール研究室)
12/15：地域国際学習センター301講義室
1/18：医学部臨床研究棟大学院セミナー室

11月9日(土)【3時限～5時限】

第1回：ガイダンス（シラバスの解説、授業の方法、日程と評価の基準の説明）

第2回：ファシリテーションの基礎知識

第3回：ファシリテーターの役割と実践事例

12月7日（土）【3時限～5時限】

第4回：場づくり・構造化・合意形成

第5回：プログラムデザインの考え方

第6回：プロセスデザインの考え方

12月15日（日）【3時限～5時限】事例：第2次南城市観光振興計画～持続可能な観光まちづくりを目指して～

第7回：観光まちづくり①

第8回：観光まちづくり②

第9回：観光まちづくり③

12月22日（日）【3時限～5時限】フィールド：南城市

第10回：フィールドワーク①

第11回：フィールドワーク②

第12回：フィールドワーク③

1月18日（土）【3時限～5時限】

第13回：ファシリテーター演習①（地域振興に向けたプロセスデザイン）

第14回：ファシリテーター演習②（地域振興に向けたプロセスデザイン）

第15回：最終発表及び振り返り（フィードバック）

■ 事前学習

ファシリテーションに関する図書を読んでおくこと。

■ 事後学習

ファシリテーションに関する図書を読んでおくこと。

■ 教科書にかかわる情報

■ 教科書全体備考

■ 参考書にかかわる情報

参考書	書名	ファシリテーション入門<第2版>			ISBN	4532113989	備考	日経文庫, 1398 ; I29
	著者名	堀公俊著						
	出版社	日本経済新聞出版社	出版年	2018				
参考書	書名	これからはじめるワークショップ			ISBN	978-4-532-11411-4	備考	日経文庫, 1411 ; I70
	著者名	堀公俊著						
	出版社	日本経済新聞出版社	出版年	2019				

■ 参考書全体備考

■ 使用言語

日本語

■ メッセージ

本科目は「初級地域公共政策士」の認証科目（選択）である。

また、本科目は地域創生副専攻の授業科目＜地域創生活動・実践＞である。

さらに、本学が取り組む「アクティブ・シンクタンク」の社会人向けの人材育成プログラムでもあるため、自治体、NPO法人や企業等社会人等にも公開授業として社会人にも提供する。

■■ オフィスアワー

畑中寛（メールにて連絡後対応）

■■ メールアドレス

hiroshi@cs.u-ryukyu.ac.jp

■■ URL

■ ■ 科目番号			
総99			
■ ■ 開講年度	■ ■ 開講学期	■ ■ 曜日時限	■ ■ 開講学部等
2019	後学期	その他	共通教育等科目総合科目
■ ■ 講義コード	■ ■ 科目名[英文名]	■ ■ 単位数	
101287002	総合特別講義Ⅸ 「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」		2
■ ■ 担当教員[ローマ字表記]			
畑中 寛 [Hiroshi Hatanaka]			

授業の形態

講義、演習又は実験、実務経験講師

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ

授業内容と方法

本科目では、地域社会の課題の解決をめざす対話の場である「沖縄式地域円卓会議」のマネジメントを行える人材を育成するため、ケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱います。

沖縄式地域円卓会議は、地域で起こっている「困り事」に立ち向かっている方々が、自ら第一声をあげることから始まります。多くのシンポジウムのように、成功事例の紹介から始めるのではなく、まずは統計等を元に事実に向き合い、参加者で共有することを大切にしています。具体的なテーマ決め、テーマの大きさを「食べられるサイズ」にすることが重要です。

本科目では、沖縄式地域円卓会議の手法である、地域の「困り事」を、単独あるいは2者間で協議するのではなく3者以上のステークホルダー（利害関係者）で、意見交換の方法を学んでいきます。様々な事実・視点・評価・事例が提供されるため、地域の「困り事」は研ぎ澄まされ、「社会課題」へと昇華していくプロセスを知ることができます。

また、本科目では、沖縄式地域円卓会議が取り組むテーマと参加者を決めるプロセス、当日の司会者と記録者（ファシリテーショングラフィック）による会議の運営方法を学びます。司会者が、対話を持って地域の社会課題を解きほぐし、どのように参加者の意識を「他人事から自分事（じぶんごと）」に変えていけるかのノウハウを習得します。記録者は、会議で発言された情報を構造化し、その記録は、今後の課題解決に向けてのアプローチの基礎となります。

さらに、実際の円卓会議の運営現場の見学と運営補助を行うことによって、学びを深めていき、最後は地域円卓会議を創るシミュレーションワークショップを体験できる内容となっています。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

地域円卓会議とは何かについての専門的知識の修得に加え、ファシリテーション能力及びコミュニケーション能力の獲得を目的とします。

1. 地域円卓会議の基礎について理解し、その技法について説明・実践できるようになる。[専門性]
2. 地域円卓会議の関連技法について理解し、会議運営ができるようになる。[社会性] [コミュニケーション・スキル]
3. 他人の発想や自分とは異なる考え方を取り入れ、地域円卓会議を円滑に進行できるようになる。[社会性] [コミュニケーション・スキル]
4. 地域円卓会議の場にて、他人の意見を引き出す（ファシリテート）ことができる。[地域・国際性] [コミュニケーション・スキル]
5. 地域課題解決に向けた地域円卓会議の開催ができるようになる。[地域・国際性] [コミュニケーション・スキル] [問題解決力]

評価基準と評価方法

1. 地域円卓会議における発言内容と発言引き出しのファシリテーションの力を評価します。
2. 地域円卓会議における説明と質問のコミュニケーション力を評価します。
3. 調査・分析結果を取りまとめ、記述できる力をレポートによって評価します。
4. 「地域との協働」ができる能力を上記1～3を含め総合的に勘案します。

履修条件

特になし。

授業計画

□教室：地域国際学習センター 301 講義室

※12/21は50周年記念館多目的室AB

10月26日（土）【3時限～5時限】

第1回：ガイダンス（シラバスの解説、授業の方法、日程と評価の基準の説明）

第2回：地域円卓会議について、地域円卓会議の再現

第3回：地域円卓会議ができるまで -1.テーマ決め-

10月27日（日）【3時限～5時限】

第4回：地域円卓会議ができるまで -2.キャスティング-

第5回：地域円卓会議の司会と進行

第6回：地域円卓会議のファシリテーショングラフィック

12月21日（土）【3時限～5時限】

第7回：地域円卓会議 -現場見学と運営体験-①

第8回：地域円卓会議 -現場見学と運営体験-②

第9回：地域円卓会議 -現場見学と運営体験-③

2月1日（土）【3時限～5時限】

第10回：地域円卓会議活用者のインタビュー①

第11回：地域円卓会議活用者のインタビュー②

第12回：地域円卓会議活用者のインタビュー③

2月2日（日）【3時限～5時限】

第13回：地域円卓会議を作るシミュレーションWS①

第14回：地域円卓会議を作るシミュレーションWS②

第15回：授業全体の振り返り（フィードバック）

■ ■ 事前学習

地域円卓会議に関する図書を読んでおくこと。

■ ■ 事後学習

地域円卓会議に関する図書を読んでおくこと。

■ ■ 教科書にかかわる情報

■ ■ 教科書全体備考

■ ■ 参考書にかかわる情報

■ ■ 参考書全体備考

■ ■ 使用言語

日本語

■ ■ メッセージ

本科目は「初級地域公共政策士」の認証科目（必修）です。

また、本科目は地域創生副専攻の授業科目〈地域創生活動・実践〉です。

さらに、本学が取り組む「アクティブシンクタンク」の社会人向けの人材育成プログラムでもあるため、自治体、NPO法人や企業等社会人等にも公開授業として社会人にも提供します。

■■ オフィスアワー

畑中寛（メールにて連絡後対応）

■■ メールアドレス

hiroshi@cs.u-ryukyu.ac.jp

■■ URL

科目認証に係る追加申請について

令和元年度の初級地域公共政策士の資格対象科目は下記 1 の 6 科目で開講しているが、資格取得を目指す受講生のニーズに対応した対象科目の充実を図るため、令和 2 年度より下記 2 の 2 科目を資格対象科目として新規開講する。

現在、新規開講科目の令和 2 年 3 月中の認証に向け、追加申請を一般財団法人地域公共人材開発機構と調整している。

1. 令和元年度初級地域公共政策士資格対象科目

- ① 総合特別講義Ⅵ「クラウドファンディング実践講座」
- ② 総合特別講義Ⅷ「ファシリテーションの技法と地域振興」
- ③ 総合特別講義Ⅸ「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」
- ④ 琉大特色・地域創生特別講義「政策立案能力強化プログラム」
- ⑤ キャリア関係科目「地域企業（自治体）お題解決プログラム」
- ⑥ 経済政策特殊講義Ⅳ「社会的インパクト投資基礎概論」

2. 令和 2 年度新規開講科目

地域国際創造学部経済学プログラム専門科目（応用科目）

- ・「コミュニティ・プロデューサー養成講座」
- ・「ICT を活用した地域課題解決」

なお、上記 2 科目の新規開講については、目的別人材育成プログラム「地域・政策人材育成ワーキンググループ」の島袋純座長（教育学部教授）の了承を得ており、今年度中に開催される同ワーキングにて座長報告される予定。

2020年度公開講座一覧

連番	種類	新規・継続	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集 人数	受講料① ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	受講料② ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	サテライト連携	対象者	開催期間	会場	必要経費 ※黄色いセルは10万円以上
1	一般	新規	人文社会学部	寺石 悦章(人文社会学部 教授)	心と身体にやさしい講座－出産・育児・教育－	30	¥3,180		否	市民一般	5月10日(日)・5月31日(日)	文系講義棟111教室	¥24,921
2	一般	新規	人文社会学部	寺石 悦章(人文社会学部 教授)	秋の教養講座	30	¥3,180		否	市民一般	11月14日(土)・11月28日(土)	文系講義棟111教室	¥24,921
3	一般	継続	人文社会学部	寺石 悦章(人文社会学部 教授)	シュタイナー教育入門	40	¥3,180		否	市民一般	8月27日(木)～9月10日(木)	文系講義棟111教室	¥0
4	専門	新規	国際地域創造学部	稲村 務(国際地域創造学部 教授)	社会人類学 I	20	¥4,730		否	市民一般(高校生以上)	4月18日(土)～5月23日(土)	文系講義棟201教室	¥0
5	一般	新規	国際地域創造学部	西 圭介(国際地域創造学部 講師)	宮古島におけるサイクルツーリズムの未来	50	¥0		可	市民・ホテル関係者	調整中	宮古島サテライトキャンパス	¥63,200
6	一般	継続	国際地域創造学部	大島 順子(国際地域創造学部 准教授)	やんばるで学ぶ世界自然遺産学習	20	3,180円		否	教育関係者及び観光関連事業者	6月28日(日)	琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林エリア	¥9,345
7	一般	継続	国際地域創造学部	大島 順子(国際地域創造学部 准教授)	やんばる山学校(仮)	20	3,180円		否	市民一般(中学生以上)	調整中	琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林やダム周辺、海岸エリア	¥30,615
8	一般	継続	国際地域創造学部	大島 順子(国際地域創造学部 准教授)	地域の資源を磨く観光の担い手づくり講座	20	3,180円		可	市民一般、教員	調整中	地域国際学習センター301講義室	¥33,000
9	子ども	継続	教育学部	濱田 栄作(教育学部 准教授)	クリスマスサイエンスレクチャー	16	¥0		否	小学4～6年生および中学生	12月19日(土)	琉球大学教育学部棟4階422教室	¥15,000
10	子ども	継続	教育学部	岡本 牧子(教育学部 准教授)	新聞記者体験 -エネルギーってなんだろう?-	20	¥0		否	小学4～6年生とその保護者	7月18日(土)	琉球大学教育学部本館101教室	¥20,256
11	一般	継続	教育学部	下地 敏洋(大学院教育学研究科 教授)	老年学への招待－老年学を日常生活へ－	25	¥0		否	市民一般	6月13日(土)・6月20日(土)	教育学部棟103教室	¥0
12	子ども	継続	教育学部	笹澤 吉明(教育学部 准教授)	琉大生がサッカーと勉強を教えます！	100	¥0		否	小学生	5月開始	琉球大学サッカー場(雨天時第一体育館)及び講義室	¥456,000
13	一般	継続	教育学部	松本 由香(教育学部 教授)	オリジナル模様ワンピースづくりにトライ！	6	¥3,700	材料費 ¥2,000	否	市民一般・学生	8月8日(土)、9日(日)	教育学部棟333教室	¥12,000
14	一般	継続	教育学部	松本 由香(教育学部 教授)	染め織りから学び自然素材の小物づくりを体験しましょう	12	¥3,180		否	市民一般・学生	7月18日(土)、19日(日)	教育学部棟333教室	¥4,000
15	子ども	新規	教育学部	杉尾 幸司(大学院教育学研究科 教授)	昆虫の行動をコントロールしてみよう -昆虫行動学入門-	16	¥0		否	中・高校生	4月18日(土)	教育学部本館 422教室	¥16,900
16	子ども	継続	教育学部	三輪 一義(教育学部 教授)	児童・生徒・指導者のためのハンドボール教室	200	¥0		否	ハンドボール愛好者	4月11日(土)～3月7日(日)	琉球大学第一体育館	¥66,400
17	一般	継続	理学部	前野 昌弘(理学部 准教授)ほか	～物理の魅力を教えます2020～	50	¥0		否	小中高校生・一般	8月9日(日)	理系複合棟	¥183,600
18	子ども	継続	理学部	前野 昌弘(理学部 准教授)	琉大生による理科実験教室	100	¥0		否	小中高校生・一般	12月26日(土)	琉球大学理系複合棟	¥56,000
19	一般	継続	理学部	漢那 洋子(理学部 准教授)	理系女子・理系男子の世界 －進路選択とキャリア形成、生活と文化－	20	¥0		否	一般 (高校・大学生、指導者・保護者も可)	未定	理系複合棟207講義室(仮)	¥2,000
20	一般	継続	理学部	中川 鉄水(理学部 助教)	水素のチカラ ～水素を作る、貯める、使うを体験しよう～	30	¥0		否	市民一般・学生	未定	地域国際学習センター301講義室／サテライトキャンパスのうち1～3か所を予定	¥87,900
21	子ども	継続	理学部	中川 鉄水(理学部 助教)	身近な化学 Part①	30	¥0		否	高校生以下	未定(6月予定)	琉球大学 地域国際学習センター301講義室	¥49,500
22	子ども	継続	理学部	中川 鉄水(理学部 助教)	身近な化学 Part②	30	¥0		否	高校生以下	未定(2月予定)	琉球大学 地域国際学習センター301講義室	¥49,500
23	一般	継続	理学部	中村 崇(理学部 准教授)	身近な海を楽しもう～サンゴ礁の生物塾～	10	¥2,670	(※小中高生は無料)	否	移動手段(自家用車)があり、終日参加が可能な方。未成年の場合は小学生以上とし原則保護者同伴での参加が可能な方	8月2日(日)	理学部528教室と野外 (大渡海岸もしくは裏真栄田海岸を予定)	¥8,000
24	一般	継続	医学部	大湾 知子(医学部 准教授)	生活文化のなかにおける沖縄伝統空手と健康～尿失禁予防～	100	¥0		否	一般市民	4月26日(日)	沖縄県立博物館(調整中)	¥38,940
25	一般	新規	医学部	大湾 知子(医学部 准教授)	在宅・訪問における歯科診療と看護・リハビリ	70	¥0		否	一般市民	7月19日(日)	三原公民館	¥16,060
26	一般	継続	医学部	大湾 知子(医学部 准教授)	コンチネンス月間・コンチネンスデイ！ 気持ちよく排泄(尿・便)ができるために	70	¥0		否	一般市民	12月5日(土)	放送大学沖縄学習センター5階大講義室	¥3,115

2020年度公開講座一覧

連番	種類	新規・継続	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集 人数	受講料① ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	受講料② ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	サテ ライト 連携	対象者	開催期間	会場	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上
27	一般	継続	医学部	照屋 典子(医学部 助教)	がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際	50	¥0		否	一般市民	9月12日(土)	国立病院機構 沖縄病院 会議室	¥40,624
28	一般	継続	医学部	尾尻 義彦(医学部 助教)	楽楽ランニングで目指せ！NAHAマラソン完走！！	40	¥0		否	一般市民	7月11日(土)～12月12日(土)	琉球大学医学部保健学科講義室、琉球大学陸上競技場、大学構内及び周辺道路	¥15,200
29	専門	継続	医学部	遠藤 由美子(医学部 准教授)	看護職の研究力アップ講座	30	¥2,670		否	臨床看護研究を実施予定または実施中の看護職	6月20日(土)～1月23日(土)	琉球大学医学部保健学科棟213室(2階)	¥41,970
30	一般	継続	工学部	渡嘉敷 健(工学部 准教授)	音の体験教室	10	¥2,670		否	市民一般	8月8日(土)	工学部2号館2階残響室・無響室	¥20,000
31	子ども	継続	工学部	金城 光永(工学部 准教授)	電子工作教室(ミニ四駆とLEDを題材に)	10	¥0	材料費 ¥1,000	否	小学5・6年生(保護者同伴のこと)	8月9日(日)	琉球大学工学部2号館226教室(電気基礎実験室)・217-2(ものラボ)	¥78,900
32	子ども	継続	工学部	比嘉 広樹(工学部 教授)	ロボットをつくろう	10	¥0		否	中学生	8月16日(日)	琉球大学工学部3号館305コンピュータ実習室	¥104,400
33	子ども	継続	工学部	仲宗根 宏貴(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室 ― ミラクル万華鏡	10	¥0	材料費 ¥374	否	小学校1～3年生(保護者同伴のこと)	8月1日(土)	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)	¥3,000
34	子ども	継続	工学部	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室 ― 電気工事を体験しよう(小学生対象コース)	10	¥0	材料費 ¥1,100	否	小学校4～6年生(保護者同伴のこと)	8月1日(土)	琉球大学工学部2号館118室(電力実験室)	¥10,000
35	子ども	継続	工学部	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室 ― 電気工事を体験しよう(中学生対象コース)	10	¥0	材料費 ¥1,400	否	中学生	8月1日(土)	琉球大学工学部2号館118室(電力実験室)	¥15,000
36	子ども	継続	工学部	與那覇 敏明(工学部技術部 技術専門職員)	夏休み工作教室 ― 合金を溶かして風鈴づくり	8	¥0	材料費 ¥1,000	否	小学5・6年生(保護者同伴のこと)	8月1日(土)	琉球大学工学部附属工作工場内	¥5,000
37	子ども	継続	工学部	勢理客 勝則(工学部技術部 技術専門職員)	夏休み工作教室 ― まわりつづけるコマ	8	¥0	材料費 ¥700	否	小学校4～6年生(保護者同伴のこと)	8月1日(土)	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)	¥23,000
38	子ども	継続	工学部	大城 諒士(工学部技術部・技術職員)	夏休み工作教室 ― ホバークラフト	10	¥0	材料費 ¥600	否	小学校1～3年生(保護者同伴のこと)	8月8日(土)	琉球大学工学部2号館226教室(電気基礎実験室)	¥10,000
39	子ども	継続	工学部	山下 大輔(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室 ― 電子回路の製作	12	¥0	材料費 ¥1,000	否	小学校4～6年生(保護者同伴のこと)	8月8日(土)	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)	¥0
40	子ども	継続	工学部	翁長 竜盛(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室 ― デスクトップPC組み立て・LANケーブル作製体験	8	¥0	¥0	否	中学生	8月8日(土)	琉球大学工学部2号館217-2号室(ものラボ)	¥4,200
41	子ども	新規	工学部	山里 将史(工学部技術部 技術職員)	夏休み体験教室 ― エンジンの中をのぞいてみよう！	4	¥0	材料費 ¥500	否	中学生	8月8日(土)	工学部附属工作工場	¥20,500
42	子ども	継続	工学部	淵脇 秀晃(工学部技術部 技術専門職員)	夏休み工作教室 ― 折り紙建築	8	¥0	材料費 ¥300	否	小学5・6年生(保護者同伴のこと)	8月8日(土)	琉球大学工学部2号館2階技術部室	¥0
43	子ども	継続	工学部	宮城 紀良(工学部技術部 技術専門職員)	夏休み工作教室 ― 固形燃料で走る船	14	¥0	材料費 ¥500	否	小学5・6年生(保護者同伴のこと)	8月8日(土)	琉球大学工学部1号館1-122室(学生学習室)	¥5,000
44	一般	継続	工学部	姜 東植(工学部 准教授)	シニアのための健康サッカー講座	30	¥0		否	40歳以上でサッカーにサ興味がある方	8月1日(土)～3月31日(火)	サッカーグラウンド	¥0
45	専門	継続	工学部	渡嘉敷 健(工学部 准教授)	沖縄の公害問題で考える平和学習	20	¥3,180		可	市民一般	未定	地域国際学習センター301講義室	¥40,540
46	専門	継続	工学部	渡嘉敷 健(工学部 准教授)	ホールマネージメント	10	¥3,180		否	ホール技術者及び一般市民	10月4日(日)～10月25日(日)	琉球大学工学部2号館2F残響室・無響室・小会議室	¥94,920
47	専門	継続	工学部	比嘉 晃(工学部 教授)	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・上期)	40	¥3,700	(大学生は¥1,850)	否	市民一般並びに工学系大学生	4月18日(土)～5月23日(土)	琉球大学工学部2号館313室	¥10,000
48	専門	継続	工学部	比嘉 晃(工学部 教授)	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・下期)	20	¥3,700	(大学生は¥1,850)	否	市民一般並びに工学系大学生	8月29日(土)～9月26日(土)	琉球大学工学部2号館313室	¥10,000
49	専門	継続	工学部	比嘉 晃(工学部 教授)	第二種電気工事士試験対策講習(技能・上期)	20	¥4,730	(大学生は¥2,365) 材料費 ¥5,000	否	市民一般並びに工学系大学生	6月6日(土)～7月18日(土)	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)	¥45,000
50	専門	継続	工学部	比嘉 晃(工学部 教授)	第二種電気工事士試験対策講習(技能・下期)	20	¥4,730	(大学生は¥2,365) 材料費 ¥5,000	否	市民一般並びに工学系大学生	10月17日(土)～12月5日(土)	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)	¥45,000
51	子ども	継続	農学部	宮城 一菜(農学部 准教授)	3歳児のための子どもシェフクラブ	6	¥3,180	材料費 ¥3,000	否	申込時3歳児	6月6日(土)、7月4日(土)	教育学部本館306教室	¥25,960
52	一般	新規	農学部	宮城 一菜(農学部 准教授)	「ちゃんと食べて、ちゃんと学び、ちゃんと生きる」大学生のためのシェフクラブ	10	¥0	材料費 ¥4,000	否	大学1年次生	5月20日(水)～1月8日(金)	教育学部本館306教室	¥51,240

2020年度公開講座一覧

連番	種類	新規・継続	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集 人数	受講料① ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	受講料② ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	サテ ライト 連携	対象者	開催期間	会場	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上
53	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	心理リハビリテーション・ボランティア養成講座	50	¥0		可	教育・福祉・医療従事者、障がい児 (者)の家族、学生等	4月25日(土)	琉球大学大学会館3階特別会議室	¥1,000
54	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)Ⅰ	(有料)5人 (無料)10人	¥5,240	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	否	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	5月11日(月)～7月6日(月)	琉球大学保健管理センター	¥1,000
55	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)Ⅱ	(有料)5人 (無料)10人	¥4,730	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	否	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	10月5日(月)～12月14日(月)	琉球大学保健管理センター	¥1,000
56	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)キャンプ in 石垣島	(有料)10人 (無料)20人	¥3,700	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	否	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	7月11日(土)・7月12日(日)	NPO法人ちゅらハウス	¥70,000
57	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)キャンプ in 宮古島	(有料)12人 (無料)30人	¥3,700	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	否	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	7月27日(月)～29日(水)	沖縄県立宮古特別支援学校	¥74,000
58	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法) 出前講座 in 那覇特別支援学校	未定	¥0		否	特別支援学校教員、児童生徒	5月・9月・9月(調整中)	沖縄県立那覇特別支援学校	¥1,000
59	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法) 出前講座 in 泡瀬特別支援学校	未定	¥0		否	特別支援学校教員、児童生徒	8月・9月(調整中)	沖縄県立泡瀬特別支援学校	¥1,000
60	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法) 出前講座 in 鏡が丘特別支援学校	未定	¥0		否	特別支援学校教員、児童生徒	10月・10月・1月(調整中)	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	¥1,000
61	専門	継続	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健 管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)キャンプ in 名護	(有料)5人 (無料)10人	¥3,700	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	否	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	10月・10月(調整中)	沖縄県立名護青少年の家(申請予定)	¥4,000
62	子ども	新規	国際教育センター	名嶋義直(グローバル教育支援機構 国際 教育センター・教授)	ドイツの学校で行われている「民主的シティズンシップ教育」	20～40人	¥0		否	中・高校生	調整中	学内／学外(依頼先の中学校・高校等) , 希望 により出前講義の調整が可能	¥5,000
													¥2,149,627

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 人文社会学部

① 講座名	心と身体にやさしい講座－出産・育児・教育－						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	市民一般	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	文系講義棟111教室					⑧ サテライト配信	可・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	3,180円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額		円	⑫ 材料費等の内訳		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	子どもたちの健やかな成長を、ささやかながらお手伝いしようという講座です。 出産、育児、教育に関する情報が手軽に、驚くほどたくさん手に入る時代です。しかし情報が多すぎて、あるいは矛盾する情報が多くて、情報に振り回されてしまうこともしばしば。そんな中、「ほんとうに大切なことは何だろう?」と考えたことはありませんか。そんな皆さんのお手伝いができたらいいなと考えています。 専門的な知識はまったく必要ありません。どなたにも学んでいただける、やさしい内容の講座です。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 寺石 悦章(人文社会学部人間社会学科教授)						
	高山 智美(助産院Sora院長)						
	金城 美和(大地こども園園長)						
	佐渡山 要(琉球のタネ代表取締役)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
5月10日(日)	13:30～14:50	赤ちゃんとお母さんに優しいお産				高山 智美	
	14:50～16:10	赤ちゃんが覚えていること、感じていること				寺石 悦章	
5月31日(日)	13:30～14:50	肯定的な言葉掛けと対応				金城 美和	
	14:50～16:10	子どもの学ぶ心を育てる環境づくり				佐渡山 要	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	講師謝金3人×1時間20分×6,230(時間単価・仮)＝24,921						
	合 計			24921			円
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 人文社会学部

① 講座名	秋の教養講座						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	市民一般	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	文系講義棟111教室					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	3,180円						
⑩ 材料費等の有無	有・ 無	⑪ 材料費等の金額		円 ⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	一つのことに集中するのはもちろんいいことです。でも、「いろいろなことを学びたい」「何でも学びたい」「学ぶことが大好き」……といった人もいます。この講座は、そんな方たちのための講座です。今回は沖縄に関連するテーマを4つ集めました。アートクラスを主催した体験から考える「芸術、または美術を通した子ども達の育ち」、首里城の知られざる謎に迫る「誰も知らない首里城の水の道」、アートイベントの仕掛け人が語る「“発見しました”からはじまるアート」、お墓を大切にする沖縄文化の謎を解く「お墓は大切！でもどうして？」話すこと、教えることが大好きな、明るく楽しい講師が集まりました。一緒に楽しく学んでいきましょう。専門的な知識はまったく必要ありません。どなたにも学んでいただける、やさしい内容の講座です。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 寺石 悦章(人文社会学部人間社会学科教授)						
	三島 友希(彫刻家)						
	上里 直司(歴史研究家)						
又吉 美輪(アーティスト)							
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
11月14日(土)	10:00～11:20	芸術、または美術を通した子どもたちの育ち				三島 友希	
	11:20～12:40	誰も知らない首里城の水の道				上里 直司	
11月28日(土)	10:00～11:20	“発見しました”からはじまるアート				又吉 美輪	
	11:20～12:40	お墓は大切！でもどうして？				寺石 悦章	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	講師謝金3人×1時間20分×6,230(時間単価・仮)＝24,921						
	合 計			24921			円
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 人文社会学部

① 講座名	シュタイナー教育入門						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	市民一般	④ 募集人数	40 人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	地域国際学習センター 3階 301講義室					⑧ サテライト配信	可・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	3,180円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額		円	⑫ 材料費等の内訳		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	シュタイナーの幼児教育はモンテッソーリ教育と共に「二大ブランド」とまで言われ、育児雑誌などで特集が組まれる他、各地の幼稚園・保育園などでも取り入れられています。またドイツ生まれのシュタイナー学校は世界中に広まり(すでに1000校を突破!)、現在も急速な勢いで増加しています。この講座ではシュタイナー教育はもちろんのこと、その根底にある理論や教育の周辺にまで視野を広げ、できるだけ総合的に理解することを目指します。 専門的な知識はまったく必要ありません。どなたにも学んでいただける、やさしい内容の講座です。映像などもご覧いただきながら、楽しく学んでいきます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 寺石 悦章(人文社会学部人間社会学科教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月27日(木)	10:00～12:00	シュタイナーってどんな人? シュタイナー教育ってどんなもの?					寺石 悦章
9月3日(木)	10:00～12:00	子どもの本性を見つめる(子どもの発達段階を考える)					寺石 悦章
9月10日(木)	10:00～12:00	シュタイナーの幼児教育(0歳～7歳の子どものために)					寺石 悦章
9月17日(木)	10:00～12:00	シュタイナー教育と学力(7歳以降の子どものために)					寺石 悦章
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳							
	合 計						円
⑰ 備 考	各回の内容や順序が変更になる可能性があります。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 国際地域創造学部

① 講座名	社会人類学 I (国際地域創造学部)						
② 講座の種類	一般・ <u>専門</u>	③ 受講対象者	市民一般(高校生以上)	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	<u>要</u> 不要
⑥ 共催など	法文学部人間科学科地理歴史人類学専攻(社会人類学概論 I)						
⑦ 会場	琉球大学文講201教室					⑧ サテライト配信	可・ <u>否</u>
⑨ 受講料	<u>1. 単価表の通り</u> (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	4730 円	全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有・ <u>無</u>	⑪ 材料費等の金額		円	⑫ 材料費等の内訳		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	社会人類学は19世紀に西洋に始まった学問で、文化人類学ともいう。戦前は民族学というのが一般的であったが、文化人類学という名称で日本では戦後に日本中の大学に設置されており,世界中の文化や社会を射程にいった学問分野としてよく知られている。「民俗学」という世界中で消滅している資料学の創始者として知られる柳田国男は実は文化人類学をよく勉強した人であり、日本文化を対象とした文化人類学を興すつもりであったのが日本特有の時代の制約のために「民俗学」をリードすることになった。彼は、晩年にはそれを悔やみさえもしたし、「民俗学」はその使命を終えようとしている。本講義では柳田國男を文化人類学史に位置づけ直すことによってその人類学としての可能性を講義する。文化人類学の得意な、フィールドワーク、文化概念、民族概念を中心に、アジアや沖縄の事例を中心にしながら社会人類学・文化人類学の過去と将来を教科書からはわからない最新の研究成果から分かりやすく概観する。文化人類学のフィールドは国家ではなく、むしろ、地域社会、島嶼社会、ネット空間、科学技術、エスニック集団などあらゆる範囲に広がっている。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	稲村務(国際地域創造学部 地域文化科学プログラム教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
4月18日	16:20-17:50	人類学のパラダイム転換					稲村務
4月25日	16:20-17:50	文化人類学者柳田國男					稲村務
5月9日	16:20-17:50	文化概念の使い方					稲村務
5月16日	16:20-17:50	民族概念の使い方					稲村務
5月23日	16:20-17:50	グローバル化のなかの民俗と民間伝承―沖縄の文化の存続ために―					稲村務
⑯ 必要経費希望額の積算内訳							
	合 計						円
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 国際地域創造学部

① 講座名	宮古島におけるサイクルツーリズムの未来						
② 講座の種類	一般	③ 受講対象者	市民、ホテル関係者	④ 募集人数	50人	⑤ 修了証の発行	不要
⑥ 共催など	自転車活用推進研究会						
⑦ 会場	宮古島サテライトキャンパス					⑧ サテライト配信	可
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	エ) サテライトキャンパスを活用した講座			
	円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	講演者の最近の研究テーマはドイツにおける都市計画と自転車の利用に関するものである。ドイツでは1970年代から経済成長が鈍化し、都市計画が戦災からの復興を促すタイプ(自動車の普及と対応した都市像)からより持続可能な都市発展を促すタイプに変容した。この変容は都市計画への参加主体の多様化も伴っていた。ドイツの都市計画では行政と民間企業だけでなく、市民、近隣住民、NPOなどの様々な主体による意見が反映される。こうしたよりオープンなドイツの都市計画は宮古島の今後の発展にとって有用な知識となるだろう。 1970年代からドイツでは自動車の普及に対応した都市像に疑問が投げかけられ、公共交通(バス、市街電車)の整備が行われ、自転車も化石燃料を必要としない実用的な個人移動手段として脚光を浴びている。自動車の普及を前提としないよりコンパクトな都市では自転車の実用性が増すのである。宮古島の面積と平坦な地形は自転車移動に適している。化石燃料を必要としない自転車で宮古島を移動する観光サービスは欧米の大規模都市に居住する人々にとって魅力となるし、宮古島の経済発展を持続可能な形で行う方法として最適なものではなかろうか？						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○西 圭介(国際地域創造学部)						
	外部講師						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
調整中	調整中	1, ドイツの都市計画と自転車(講演者:西圭介)				西	
		2, 日本におけるサイクルツーリズム(講演者:外部講師)				外部講師	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳							
	合 計						円
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 国際地域創造学部

① 講座名	やんばるで学ぶ世界自然遺産学習						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	学校教育関係者及び観光関連事業者	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	☒ 要 ・ 不要
⑥ 共催など	【開催協力】琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター与那フィールド、(社)やんばるビジョン						
⑦ 会場	琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林エリア					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)				
	3,180 円	全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	世界遺産は、自然科学や人文科学、そして社会科学など多角的な学問、学習分野を包含しているため、生涯にわたって学習できる機会を与えてくれる興味深いテーマです。しかしながら、現在では世界遺産登録後の活用ばかりに関心が注がれ、肝心な世界遺産への正しい理解や適正な活用のあり方を学ぶ機会が少ないのが現状です。世界遺産をいかに保護、保全し、未来へと継承していくのか、世界遺産地域への訪問客のみならず地域住民に対しても、あらゆる機会を活用した学びの場づくりが必要となります。本講座では、世界自然遺産候補に挙げられているやんばるで、学校教育や社会教育、観光の現場で実践できる世界自然遺産学習をテーマに、その意義や内容、教材開発について実践的に学ぶ、沖縄で初めての世界自然遺産学習の講座です。今後沖縄に必要となる世界遺産学習を担う教育者・実践者の育成につなげていきたいと思います。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	☐ 大島 順子 (国際地域創造学部准教授)						
	☐ 蔵満 逸司 (琉球大学教職大学院准教授)						
	☐ 久高 将和 (一般社団法人やんばるビジョン代表理事)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
6月28日(日)	9:30～16:00	現地集合(与那フィールド)～オリエンテーション～講義～現場実習(フィールドワーク)～教材やプログラムの開発～まとめ・ふりかえり～解散				大島・蔵満・久高	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	①講師謝金 久高将和氏に現場実習(フィールドワーク:1時間30分)で自然観察指導の担当をして頂きます。(規程によりご準備頂きますようお願いします)						
	合 計						円
⑰ 備 考	当日は現地集合・解散とします。万一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加して下さい(必須)。雨天決行ですが、天候の状況をみて、内容を変更する場合があります。※申込者には、別途詳細の案内をお送りします。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 国際地域創造学部

① 講座名	やんばる山学校(仮)						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	市民一般(中学生以上)	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	☒ 要 ・ 不要
⑥ 共催など	【開催協力】琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター与那フィールド(宿泊及び講義室提供)、国頭村森林組合(視察及び会場提供、話題提供)、(社)やんばるビジョン(講師担当、現地案内)						
⑦ 会場	琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林やダム周辺、海岸エリア					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)				
	3,180 円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	沖縄島北部やんばるの山は、琉球弧の地史を背景に独自の進化をとげた多種多様な野生動植物が生息・生育し、国や沖縄県が目指す世界自然遺産登録(推薦地)の中核をなす地域です。今年度のやんばる山学校では、世界自然遺産へ登録するほどの価値を持つ森林(⇔自然遺産が、人の暮らしにどれほどの利益をもたらすものなのか?)と人の命の源である水資源のつながりを自らの目で確認することから始め、二つのテーマでやんばるを探究します。一つ目は、やんばるで行われている林業の現場視察を通して、森林の多面的機能を考え、人の暮らしの根源をもとに今後のやんばるの森のより有効な森林の利活用のあり方を考えます。二つ目は、県民の水がめとしてのダムはもとより水源涵養林の役割を果たすやんばるの森から、短い河川を通り、海岸線までの流域や河口までを辿り、河川環境下で起きている問題にせまります。 体験やワークショップなど能動的な学習方法を取り入れながら進める本講座では、主体的で深い対話的な学びを実感できます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	☐ 大島 順子 (国際地域創造学部准教授)						
	☐ 高嶋 敦史 (農学部附属 亜熱帯フィールド科学教育研究センター与那フィールド助教)						
	☐ 久高 将和 (一般社団法人やんばるビジョン代表理事)						
⑫ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
調整中	10:00～20:30	現地集合～やんばるの森とダムから海岸線までの見学～やんばるの森を多面的に学ぶワークショップ～夜のやんばるの森の体験					大島・高嶋・久高
調整中	9:00～15:30	移動～森林組合工場見学～やんばるの森を支える体験プログラム～ふりかえり・まとめ～現地解散					大島・高嶋・久高
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	①学生アルバイト(1名):単価760円(1時間)×6時間×2日間＝9,120円、旅費 ※受付、与那フィールドでの調理(夕食・朝食等)および現場視察や体験プログラムの運営補助を行う。 ②講師謝金 1日目の現地視察(2時間)の案内及び夜の自然観察指導(1時間30分)の担当、2日目まとめのセッション(1時間)で総括に繋がるコメンテーターをして頂きます。(規程によりご準備頂きますようお願いします)						
	合 計						円
⑭ 備 考	中学生以上を対象。当日は現地集合・解散。万一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加して下さい(必須)。雨天決行ですが、天候の状況を見て、内容を変更する場合があります。※申込者には、別途詳細の案内をお送りします。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 国際地域創造学部

① 講座名	(講座名)地域の資源を磨く観光の担い手づくり講座							
② 講座の種類	一般 ・専門	③ 受講対象者	市民一般※		④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要 ・不要
⑥ 共催など								
⑦ 会場	琉球大学					⑧ サテライト配信	可・ 否	
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)					
	3,180 円	全学免除(無料)を希 望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希 望する場合、理由を選 択)					
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	観光を基幹産業とする沖縄において、インバウンド(訪日客)やイントラバウンド(国内からの客)の急増に対応した宿泊施設や交通機関に勤務する人材育成は急務となっています。従来、様々な場において実務的な対応力研修は実施されてきましたが、本講座は実務家研修というよりも、一般市民も獲得しておくべき観光基礎人材としての資質・能力に関わる内容を軸としています。広く観光現象や地域の価値を理解し、その対応力やマインドを育成するためのプログラムを体験的に受けて頂くものです。小中高等学校段階における観光の学びを推進するためのスキルも磨きます。							
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)							
	○ 大島 順子 (国際地域創造学部准教授)							
	寺本 潔 (玉川大学教育学部 教授)							
⑫ プ ロ グ ラ ム								
実施日	時間	講座内容						担当講師
日程調整中	9:30～16:30	講義および演習						大島・寺本
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	・講師謝金:寺本先生には、講座全体6時間(昼食の1時間を除く)間のうち、5時間をご担当して頂きます。(規程により謝金をご準備頂きますようお願い申し上げます。)							
	合 計							円
⑭ 備 考	※対象とする主な受講者は、観光基礎人材育成のための教育に関心を持つ市民、または観光を題材とした学びや指導法を獲得したい教員とします。							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名

① 講座名	クリスマス サイエンス レクチャー						
② 講座の種類	一般	③ 受講対象者	小学4～6年生および中学生	④ 募集人数	16 人	⑤ 修了証の発行	要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	教育学部棟 4階 422室					⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	無料			ウ)児童・生徒を対象とする講座			
⑩ 材料費等の有無	無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	科学のクリスマスプレゼントを皆さんに贈ります。 大学生のお兄さんやお姉さんと一緒に、ワクワクするような実験や観察を体験して、今まで見過ぎていた、いろいろな不思議にせまります。きっと、もっと、科学が好きになりますよ!						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○濱田 栄作(琉球大学教育学部 准教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
12月19日	13:00～17:00	実験や観察を通して自然や科学を楽しみながら学びます。					濱田 栄作
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	実験用消耗品15,000円						
	合 計			15,000		円	
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	新聞記者体験 -エネルギーってなんだろう？-						
② 講座の種類	一般	③ 受講対象者	小学4～6年生とその保	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	教育学部 本館 101					⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらな (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希 望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希 望する場合、理由を選 択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0 円						
⑩ 材料費等の有無	無	⑪ 材料費等の金額	0 円	⑫ 材料費等の内訳	特になし		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	「エネルギーを大切に!」「省エネ!」など、エネルギーという言葉をよく耳にしますが、そもそもエネルギーとは何なのでしょう?この講座では、県内のエネルギー関連施設を自分で取材し、新聞作りにチャレンジします。身近なエネルギーについて、自分で集めたインタビュー記事や写真を使ってエネルギー新聞を作ってみよう!作成した新聞は、かべ新聞コンテスト(全国版)に応募できます(フォームを用意しています)。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	☐ 岡本牧子 (教育学部技術教育専修 准教授)						
	☐ 濱田栄作 (教育学部理科教育専修 准教授)						
	☐ 清水洋一 (教育学部技術教育専修 教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
7月19日(土)	9:00～12:00	近隣のエネルギー施設へ取材体験(バス移動)					岡本牧子・清 水洋一
	13:00～16:00	資料・記事整理と新聞制作					濱田栄作・岡 本牧子
⑯ 必要経費希望額 の積算内訳	学生アルバイト(3名):単価792(1時間) x 6時間 x 3名分 = ¥14,256 消耗品¥6,000程度 : (A3用紙(ケント紙、生協にて販売)40枚: 2枚 x 20名分、写真用紙(L版120枚):コクヨKJ-D12L-120、プリンターインク(HP135))						
	合 計				20,256		円
⑰ 備 考	教室が変更になる場合があります。 万一の事故に備えて、各自で任意の保険に加入してください。 対象学年以外のご兄弟の同伴も可能ですが、バスの座席確保のため、お申し込みの際は参加される方すべて(保護者等も含む)のご記入をお願い致します。 取材では写真撮影をしますので、可能な方はデジタルカメラをお持ちください。プリントは講座中に行います。 取材はバスで移動しますので、お弁当(昼食)と飲み物を持参してください。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 教育学研究科

① 講座名	老年学への招待－老年学を日常生活へ－						
② 講座の種類	一般 ・専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	25人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	地域国際学習センター3階 301講義室					⑧ サテライト配信	可 ・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ア)福祉・健康に関する講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有・ 無	⑪ 材料費等の金額		円	⑫ 材料費等の内訳		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	超高齢社会が進展する中で、高齢者の現状と正しい老化のプロセスを理解することは、人生の質を高める上で重要である。 本講座では、老年学の研究成果を通して社会的、生物学的、及び心理学的な領域から正しい老化のプロセスを学ぶ機会を通して、加齢に伴う心身の変化や健康長寿の影響要因について理解を深めることを目的としている。 講義の主な内容は、「生涯発達」を共通のコンセプトに、講義とお互いの議論を通して、長寿で健康な人々のライフスタイル等について理解を深めることである。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	下地敏洋(琉球大学大学院教育学研究科教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
2020年6月13日	10:00－12:00	主観的幸福感の影響要因					琉大 下地
2020年6月20日	10:00－12:00	生きがいと健康長寿について					琉大 下地
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳							
	合 計						円
⑰ 備 考	教室が変更になることがあります。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	琉大生がサッカーと勉強を教えます！							
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学生	④ 募集人数	100 人	⑤ 修了証の発行	要 ・ ☒ 不要	
⑥ 共催など								
⑦ 会場	琉球大学サッカー場(雨天時第一体育館)及び講義室(夏季は西原きらきらビーチの時もある)					⑧ サテライト配信	☒ 可 ・ 否	
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	オ)その他(備考に理由を記述)				
	3,000円							
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳				
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	本講座は、昨今課題である児童・生徒の学力や体力の低下の問題に立ち向かうものである。対象は小学生男女であり、低～高学年まで全てである。琉球大学サッカー部を中心とする学生が、サッカー教室を通じて体を動かす楽しさを伝えた後、宿題の援助や苦手科目の克服などを目指した学習教室を展開し、「文武両道」の精神を身につけさせる。本講座は学生の若いエネルギーを子ども達にぶつけ、体当たり指導することによって、子ども達の「やる気」を育てる一助となることも目指し、若い先生が少なくなった学校現場の補足的な役割も期待できる。さらに学生諸君は教えることを通じて自らを成長させる良い機会となる。また、講座終盤では親子による親睦試合を行い、カレーパーティーを開き親子の絆を図る。さらに、夏期はビーチサッカー(親子大会、スイカ割り含)も経験し、サッカーの楽しさを広げる。日曜の朝から活動することによって生活習慣を整え、月曜からの学校の学習活動にスムーズに入れるようにする。昨年120名の参加者がある人気講座であり、NHKの「あさイチ」でも取材され全国から注目されている。							
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)							
	○琉球大学教育学部 准教授 笹澤 吉明							
	琉球大学工学部 准教授 姜 東植							
	琉球大学サッカー部学生							
⑮ プ ロ グ ラ ム								
実施日	時間	講座内容					担当講師	
調整中 5月開始予定 基本的に毎週日曜日	8:30～10:00	サッカー教室					笹澤(姜)学生	
	10:00～11:00	学習教室					笹澤(姜)学生	
	11:00～14:00	試合応援(自由参加)						
⑯ 必要経費希望額の積算内訳		メーカー	品名	品番	値段	個数	計	学生謝金 20回×2.5時間×760円×12名＝ <u>456000円</u> 【実質】 (40回×2.5時間×760円×20名＝1520000円) 現在の備品は劣化が激しく、新たに購入する必要がある。
	1	molten	ベレーダ274	PF274Y	3360	30	100800	
	2	molten	ゲームベスト	GB101-Y	17850	1	17850	
	3	molten	ゲームベスト	GB101-B	17850	1	17850	
	4	molten	ゲームベストジュニア	GBJ101-Y	16800	1	16800	
	5	molten	ゲームベストジュニア	GBJ102-B	16800	1	16800	
	6	molten	片面ネームプリント	(ベスト用)	347	40	13880	
	7	molten	ネームプリント製版	(ベスト用)	12600	1	12600	
	8	molten	ボールカゴ	BK500T	54600	1	54600	
	9	molten	ボールカゴフタ	BK50LD	13650	1	13650	
合計							264830	
合 計				456,000			円	
⑰ 備 考	学生の遠征や大会等で都合がつかない場合は休講となることもあります。将来プロを目指す子から女子や初心者まで大歓迎です。子ども達の生活習慣を整えることを目的の一つとするため、運動、栄養、休養などのアドバイスを御父兄に行うこともあります。期間は5月から翌年3月までので30回開講しています。スクールお揃いの琉大ユニフォームTシャツを安価で販売しています。希望される方はスクールが始まってから担当学生に申し出てください。雨天時は、体育館にて行うことや、スケジュールの都合から土曜開校になることもあります。土曜日開校はは8：00から始まりますのでご注意ください。変更のある場合は、琉大サッカー部のHPや事務からのメール連絡によって連絡します。なおこの取り組みは、平成14年3月にNHKの番組「あさイチ」にて報道され、全国に紹介され注目されています。							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	オリジナル模様かりゆしワンピースづくりにトライ！						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	一般・学生	④ 募集人数	6 人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学教育学部棟3階333教室					⑧ サテライト配信	可・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	3,700円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	2,000円	⑫ 材料費等の内訳	布代		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	紅型風型染でワンポイントの模様をほどこしたフリーサイズのかりゆしワンピースをつくります。布をパターンにしたがって裁断・しるしつけした後、自分で柄を出入し、型紙をつくって色を摺り込み、隈取りして染めてから仕立てます。既製品を買って着ることにいはない、つくる楽しさを感じ、衣生活の原点を考えましょう。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○松本 由香(教育学部・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月8日	9:30～17:00	ワンピースのパターンづくり、布の裁断、しるしつけ、模様デザイン、型紙づくり、型染め					松本
8月9日	9:30～17:00	ミシン縫い、完成					松本
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	サンプル用綿麻布地:1体×2メートル×1000円＝2,000円 製図用紙・ミシン糸・ボビン:各7個＝2,000円 ST用紙・顔料・サンカラー・バインダー・スプレー糊＝8,000円						
	合 計			12,000			円
⑰ 備 考	裁縫道具（縫い針、まち針、糸切はさみ、しつけ糸、チャコ、両面チャコペーパー）、エプロンは、各自持参ください。染色材料はこちらで用意します。布地は実費で購入していただきます。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	染め織りから学び自然素材の小物づくりを体験しましょう						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	一般・学生	④ 募集人数	12 人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学教育学部棟3階333教室					⑧ サテライト配信	可・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通 (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
	3,180円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	2,000円	⑫ 材料費等の内訳	苧麻原糸 2玉(1玉1,000円)		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	沖縄では、多様な染め織りが各地でおこなわれてきていますが、一般にはなかなか身近ではなく、知られていないのではないのでしょうか。また日々の暮らしのなかでは、ものを購入することが一般的で、つくる機会がなくなってきているのではないのでしょうか。本講座では、沖縄でかつてから盛んであった染め織りをとりあげ、染め織りから沖縄の歴史を考え、また各産地でつくる人びとの営みの意味を考えます。さらに実際に、苧麻という沖縄に古くからありながら日常にふれる機会がなくなってしまった繊維素材をつかって、かぎ針で編んで小物をつくる体験をします。そうして身近なものをつくる楽しさを体験します。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)							
	○松本 由香(教育学部・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
7月18日	10:00～16:00	午前、参考書から沖縄の染め織りと暮らしについて考えます。午後、苧麻から糸をつくります。					松本
7月19日	10:00～16:00	苧麻からつくった糸をつかって、かぎ針による手編みでポーチ(小物入れ)をつくります。					松本
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	苧麻原糸(宮古島市伝統工芸品センターで購入):サンプル2人分:原糸1人2玉＝1玉1000円×4玉＝4,000円						
	合 計			4,000円			円
⑰ 備 考	参考書(松本由香・佐野敏行 2020年 「沖縄の染め織りと人びとの暮らし―家族と地域文化、経済とツーリズムから考える―」琉球新報社) を興味ある方はご用意ください。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 教育学研究科

① 講座名	昆虫の行動をコントロールしてみようー昆虫行動学入門ー						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	中・高校生	④ 募集人数	16人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	教育学部本館 422教室					⑧ サテライト配信	可・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有 無	⑪ 材料費等の金額		円	⑫ 材料費等の内訳		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨: 昆虫の不思議な行動を通して、自然科学への興味・関心を高めてもらう事を目的に実施します。 内容: 身近な昆虫の不思議な性質を利用した実験を通して、昆虫行動の興味深い仕組みについて学びます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)							
	○ 杉尾幸司 (大学院教育学研究科 教授)						
	宮國泰史 (グローバル教育支援機構 特命助教)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
4月18日(土)	10:00~12:00	昆虫行動に関する講義と実験					杉尾幸司 宮國泰史
⑯ 必要経費希望額 の積算内訳	工作用文具等(ハサミ 400円×17、カッターナイフ 300円×17、カッターマット 800円×5、 工作用紙 1000円):16,900円						
	合 計			16900			円
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	児童・生徒・指導者のためのハンドボール教室						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	ハンドボール愛好者	④ 募集人数	200 人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など	琉球大学男女ハンドボール部・教育学部保健体育専修・沖縄県ハンドボール協会						
⑦ 会場	琉球大学第一体育館					⑧ サテライト配信	可・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	無料						
⑩ 材料費等の有無	有・ 無	⑪ 材料費等の金額		円 ⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	沖縄県内の小学生・中学生・高校生およびその指導者に対し、ハンドボール競技の技術・戦術・指導法を伝えることを基本とします。 対象のレベルに応じた技術・戦術・指導法について、よりの確に対象者が身につけることを目的とします。 原則として、受講生を限定せず、学校の部活動単位での集合型公開講座を主たる形態とします。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	三輪一義(琉球大学教育学部生涯健康教育コース 教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
4月11日(土)	土曜日:						
～	13:00～17:00	ハンドボールの技術・戦術・指導法とその理論					
3月7日(日)	日曜日:						
	10:00～16:00						
<別紙参照>	(休憩を除く)						
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	ハンドボール3号球 4個 (モルテン 品名:ヌエバX5000 品番:H3X5001-BW 単価:¥8,400) ハンドボール2号球 4個 (モルテン 品名:ヌエバX5000 品番:H2X5001-BW 単価:¥8,200) (主に児童生徒を対象とした講座のため、ガイダンスに従い受講料を無料にしておりますので、 必要経費の要求は気が引けますが、希望額を提示します。 配分可能な範囲で購入して頂けると助かります。)						
	合 計				66,400		円
⑰ 備 考	集合型公開講座のスタイルは実質的に6年前より実施しており、 令和年度実績において、参加者は延べ人数で、児童生徒856人、指導者59人 (令和元年12月末時点) に及びます。 実技指導の補助員に、琉球大学男女ハンドボール部員および教育学部保健体育科有志学生を充てて、これまで5年間の指導 経験を踏まえて、指導内容を充実させる予定です。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名理学部

① 講座名	～物理の魅力を教えます2020～						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	小中高校生・一般	④ 募集人数	50人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	琉球大学理系複合棟					⑧ サテライト配信	可・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有・ 無	⑪ 材料費等の金額		円 ⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	琉球大学理学部物理系では毎年夏に、中高生以上を中心とした理科好きの一般の皆様、様々な物理の魅力を伝える講座を開いています。講座の前半は最新の物理関係のトピックスや琉球大学で研究されている最先端の物理についての講演を行います。後半は物理の魅力の詰まった各種実験実演など自由に参加できるプログラムになっています(参加申込不要、途中入退場自由です)。生き生きとした最先端物理学の世界に触れる機会を提供したいと思いますので、物理が好きな人も得意でない人も、是非不思議体験をしにきてください。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	前野昌弘(理学部物質地球科学科准教授)○			瓜生康史(理学部物質地球科学科教授)			
	眞榮平孝裕(理学部物質地球科学科教授)			與儀護(理学部物質地球科学科准教授)			
	辺土正人(理学部物質地球科学科教授)			田原周太(理学部物質地球科学科准教授)			
	阿曾尚文(理学部物質地球科学科教授)			小林理気(理学部物質地球科学科助教)			
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月9日	13:00～17:00	講演＆実験体験					全員
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	ポスター印刷(300枚:8千円) パンフレット印刷(3000枚:1万円) 以上の発送費(県内の中学・高校)2万円 受講者に体験してもらう実験の消耗品(10万円) 学生アルバイト20名(単価760円×3時間×20＝45600円)						
	合 計			183600			円
⑰ 備 考	講座内容などは、ホームページ “ http://www.phys.u-ryukyu.ac.jp/koza2020/ ” にて情報発信します。 事前申込不要で当日参加可能です。途中入場・途中退場も可能です。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名理学部

① 講座名	琉大生による理科実験教室						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	小中高校生・一般	④ 募集人数	100人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	琉球大学理系複合棟					⑧ サテライト配信	可・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有・ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	琉球大学理学部物質地球科学科の教員を志望している大学4年生が中心となって、小中高校生向けの実験教室を開催します。物質地球科学科は物理と地学を勉強する学科です。この教室では物理・地学に関する楽しい実験などを見たり体験したりできるほか、工作なども楽しめるようになっています。 小中高校生向けですが、理科に興味の全ての方が参加可能です。 理科の不思議を見て聞いて、触りにそして作りに来てください。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	前野昌弘(理学部物質地球科学科准教授)○						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
12月26日	13:00～17:00	実験体験					前野昌弘
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	ポスター印刷(300枚8000円)。 パンフレット印刷(3000部8000円)。 県内小学校に発送(2万円)その他はイベントなどで配布。 受講者に体験してもらう実験・工作の消耗品(2万円)						
	合 計				56000		円
⑰ 備 考	講座内容などは、ホームページ “ http://www.phys.u-ryukyu.ac.jp/jikken2020/ ” にて情報発信します。 事前申込不要で当日参加可能です。途中入場・途中退場も可能です。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名理学部

① 講座名	理系女子・理系男子の世界―進路選択とキャリア形成、生活と文化―						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般(高校・大学生、指導者・保護者も可)	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	☒ 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学理系複合棟207講義室(仮)					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. ☒ 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	オ)その他(備考に理由を記述)			
	0 円						
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	自然科学分野の研究や教育を職業とする理系女子・理系男子の実際の姿については、世間一般には案外、あまり知られていないのかもしれませんが。本講座においては、理系の進路選択やキャリア形成の道筋に関する内容と共に、その職業生活、日常、文化などについてもお話します。また、若い人たちに対する理系進路選択支援やキャリア形成支援の有り様、特に女子学生・女子生徒に対する支援の現状、更には女性研究者や技術者、教育者の様々な状況も含めて紹介します。自然科学分野の実態を知ること、興味の幅を広げ、人生の選択肢や喜びを増やしてもらえることを期待しており、受講者の皆さんと情報や意見の交換も行いながら話を進めていきたいと思っておりますので、進路選択を控えた学生や生徒さん、および、その指導者や保護者の方々も歓迎します。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	☒ 漢那 洋子(理学部 海洋自然科学科 化学系 准教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
検討中	13:30 - 16:30	自然科学の世界および理系の進路選択とキャリア形成およびその生活や文化に関連した講義				漢那 洋子	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	消耗品(印刷用紙代等):2,000円						
	合 計			2,000		円	
⑰ 備 考	高校生も対象としていることと、配布資料の用紙代以上の特別な材料費等が必要な講座ではないので無料としたいと考えています。 実施日については、検討中です(2021年2月下旬～3月上旬)。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 理学部

① 講座名	水素のチカラ ～水素を作る、貯める、使うを体験しよう～□						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	市民一般・学生	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学内およびサテライトキャンパスのうち1～3か所を予定					⑧ サテライト配信	可・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0 円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	水素エネルギー社会到来が間近に迫っているが、沖縄では未だ水素ステーションや水素燃料電池自動車などの導入例がほとんどなく、沖縄県民にはなじみの薄いものとなっている。しかしながら水素エネルギーは地産地消可能なエネルギー資源であるため、沖縄のような島嶼地域こそ国内に先駆けて水素社会になるべきだと考えている。本講座は、こういった状況を踏まえ、沖縄県民に水素を認知し、正しい知識を持ってもらい、水素エネルギー社会へスムーズに移行するための草の根活動として、子供から大人まで幅広い年齢層に「水素教育」なるものを提供することを趣旨とする。具体的な内容としては、来るべき水素社会の形、基本的な水素の性質、水素製造、貯蔵、利用の講義を行いつつ、関連した実験(電気分解による水素発生、水素貯蔵材料アンモニアボランを用いた水素放出反応、水素燃料電池ラジコン)を体験してもらう。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 中川 鉄水 (理学部 海洋自然科学科 化学系 助教)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
未定	2時間	水素のチカラ@ 北部または南部地域(未定)				中川 鉄水	
未定	2時間	水素のチカラ@ 離島(未定)				中川 鉄水	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	学生アルバイト:790円×10時間(準備・片付け含む)×1人×1回=7,900円 離島への旅費(交通費・宿泊費のみ):30,000円×1人×1回=30,000円 実験器具:アンモニアボラン水素発生装置制作費1,000円×5台=5,000円 アンモニアボラン(1回1g×2回=3 g):15,000円 燃料電池自動車修理・改造費(2台):30,000円						
	合 計			87,900		円	
⑰ 備 考	本講座は一般だけでなく高校生以下も対象としている。実際、参加者の内訳も高校生以下が多いため、無料としたい。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 理学部

① 講座名	身近な化学 Part①						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	高校生以下	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など	一般社団法人教育振興会						
⑦ 会場	生涯学習教育センター301講義室					⑧ サテライト配信	可 ・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0 円						
⑩ 材料費等の有無	有・ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	現代では多くの科学技術を用いた製品が日常にあふれている。しかしながら現代はその構造が複雑化・高度化しているため、学校で習ったことと関連性を見出すことができない。さらに近年、初等教育・中等教育において実験授業が減少しつつあるため、子供たちから一層理科の有益性と興味を感じづらくなりつつある。本授業は、化学を中心として、身の回りにある自然・製品のしくみの中にどのように化学が使われているかを、年2回テーマを変えて高校生以下の学生に向けて、現役大学生が中心となって実験講座を行う。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 中川 鉄水 (理学部 海洋自然科学科 化学系 助教)						
	福本 晃造 (教育学部 理科教育専修 准教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
未定(6月予定)	13:00 - 15:00	内容未定				中川・福本	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	学生アルバイト:790円×10時間(準備・片付け含む)×5人=39,500円 実験器具10,000円						
	合 計			49,500			円
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 理学部

① 講座名	身近な化学 Part②						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	高校生以下	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要 ・ ☒ 不要
⑥ 共催など	一般社団法人教育振興会						
⑦ 会場	生涯学習教育センター301講義室					⑧ サテライト配信	☒ 可 ・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. ☒ 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0 円						
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	現代では多くの科学技術を用いた製品が日常にあふれている。しかしながら現代はその構造が複雑化・高度化しているため、学校で習ったことと関連性を見出すことができない。さらに近年、初等教育・中等教育において実験授業が減少しつつあるため、子供たちから一層理科の有益性と興味を感じづらくなりつつある。本授業は、化学を中心として、身の回りにある自然・製品のしくみの中にどのように化学が使われているかを、年2回テーマを変えて高校生以下の学生に向けて、現役大学生が中心となって実験講座を行う。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	☐ 中川 鉄水 (理学部 海洋自然科学科 化学系 助教)						
	☐ 福本 晃造 (教育学部 理科教育専修 准教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
未定(2月予定)	13:00 - 15:00	内容未定				中川・福本	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	学生アルバイト:790円×10時間(準備・片付け含む)×5人=39,500円 実験器具10,000円						
	合 計			49,500			円
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名：理学部

① 講座名	身近な海を楽しもう～サンゴ礁の生物塾						
② 講座の種類	一般	③ 受講対象者	備考欄参照※	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	要
⑥ 共催など	無し						
⑦ 会場	理学部 528教室 と 野外(大渡海岸もしくは裏真栄田海岸を予定)					⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 →	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	2,670円	又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	無し	⑪ 材料費等の金額		⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	理学部生物系教員によるサンゴ礁の海の生物やサンゴ礁環境にまつわる座学形式の講義と実地での磯歩き観察を組み合わせた講座を通して、沖縄の身近なサンゴ礁について、より深く、より楽しく学ぶ機会を提供します。午前中は主に教室でのガイダンスと講義をおこない、観察現場に移動後、潮の引いたサンゴ礁のイノー(浅瀬)にて、実地での観察形式の講義をおこないます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○中村 崇 理学部 海洋自然科学科 准教授						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
R2年8月2日(日)	10:00～15:00	午前中:サンゴ礁についての座学					上記のとおり
		移動(昼食含む)後に野外観察(12:36干潮 27cm)、現地解散					上記のとおり
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	ラミネートシート(配布資料加工用:2,000円)、観察用消耗品(ピンセット、ルーペ、虫籠、軍手など:6,000円)						
	合 計			8,000			円
⑰ 備 考	※移動手段(自家用車)があり、終日参加が可能な方、 未成年者の場合は小学生以上とし原則保護者同伴での参加が可能な方 各自、任意の傷害保険に加入をしておくこと。当日は濡れても大丈夫な服装と靴をご準備ください。万が一悪天候の場合には、午後の活動を屋内(教室での実験や観察)に切り替えて実施する場合があります。野外観察後は現地で解散となります。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 医学部

① 講座名	生活文化のなかにおける沖縄伝統空手と健康 ～尿失禁対策の骨盤底筋体操～						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	100人	⑤ 修了証の発行	要 ・ ☒ 不要
⑥ 共催など	NPO法人日本コンチネンズ協会沖縄県支部、一般社団法人 沖縄伝統空手国指定無形文化財・ユネスコ登録推進協会						
⑦ 会場	沖縄県立博物館					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ア) 福祉・健康に関する講座			
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	空手の発祥の地である沖縄県から空手の重要性を発信して地域社会へ貢献したいと願う空手家と看護師との連携による健康技をご紹介します。今回は、上地流・剛柔流・少林流・小林流の空手家による基本型の実践、高齢者の健康法としての空手、空手型の理論と実践哲学、空手の基本技である型、その重要性を「なるほど！」と実感できます。さらに泌尿器科分野で健康を守るコンチネンズリーダー看護師により泌尿器科受診への勧め、排尿自立にむけた対応、尿失禁対策としての骨盤底筋訓練の実演について学べます。 沖縄の未来に夢を託して沖縄伝統空手が国指定無形文化財、さらにはユネスコ世界遺産として登録されることを願っています。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	島袋 善保(一般社団法人 沖縄伝統空手国指定無形文化財・ユネスコ登録推進協会 理事長)						
	當山 悦子(琉球大学医学部附属病院 副看護師長・コンチネンズリーダー)						
	比嘉 康雄(沖縄小林流空手道究道館連合会 理事)						
	仲程 力(沖縄空手道協会上地流 範士十段)						
	島袋 善俊(国際沖縄少林流聖武館空手道協会 副会長)						
	松井 啓喜(一般社団法人 国際沖縄剛柔流空手道連盟総本部 東恩納空手道場 指導員)						
	新屋 光(一般社団法人 国際沖縄剛柔流空手道連盟総本部 東恩納空手道場 指導員)						
	砂川 恵伸(元琉球大学学長)						
	牛窪 潔(琉球大学理事・副学長 地域社会連携担当)						
	○大湾 知子(琉球大学医学部保健学科成人・がん看護学 准教授・コンチネンズリーダー)						
	東恩納盛男(一般社団法人 沖縄伝統空手国指定無形文化財・ユネスコ登録推進協会 理事)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
	13:30-13:35	一般社団法人 沖縄伝統空手国指定無形文化財・ユネスコ登録推進協会についての紹介・挨拶				島袋 善保	
	13:35-13:50	排尿自立				當山 悦子	
	13:50-14:05	小林流による伝統空手の型				比嘉 康雄	
	14:05-15:20	少林流による伝統空手の型				島袋 善俊	
2020年4月26日(日)	15:20-15:35	心身に役立つ沖縄伝統空手剛柔流の基本型三戦				松井 啓喜	
	15:45-16:00	健康に良い！上地流空手道の鍛錬型三戦				新屋 光	
	16:00-16:20	空手の型と実践哲学				仲程 力	
	16:20-16:40	空手と私				牛窪 潔	
	16:40-17:55	尿失禁の予防と対策としての骨盤底筋訓練				砂川 恵伸	
	17:55-17:00	一般社団法人 沖縄伝統空手国指定無形文化財・ユネスコ登録推進協会からの発信・挨拶				大湾 知子	
						東恩納 盛男	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	沖縄県立博物館予定です。 講堂使用料(4,500円+610円)×6時間+付属設備使用料(8,280円)＝38,940円						
	合 計			38,940		円	
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 医学部

① 講座名	在宅・訪問における歯科診療と看護・リハビリを三原公民館から発信						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	70人	⑤ 修了証の発行	要 ・ ☒ 不要
⑥ 共催など	NPO法人日本コンチネンズ協会沖縄県支部、阿蘇さずな歯科医院						
⑦ 会場	三原区公民館					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入) 0円	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	在宅・訪問における歯科診療と看護、さらにリハビリと泌尿器科で健康を守るコンチネンズリーダー看護師により泌尿器科受診への勧め、排尿自立にむけた対応と骨盤底筋訓練の理論と実演をとって尿失禁と頻尿の対策について学べます。特別講義として地震のあった熊本県における在宅歯科医療と訪問歯科診療の分野で活躍している歯科医師の講座から多くのことが学べます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名) 島袋 浩明(那覇市三原区自治会 会長) 大湾 朝夫(那覇市三原共心会 会長) 新垣 薫(社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院 看護師 排尿機能検査士 自己導尿指導士 コンチネンズリーダー) ○大湾 知子(琉球大学医学部保健学科成人・がん看護学 准教授 コンチネンズリーダー) 山下 明美(医療法人 和の会 与那原中央病院 看護師長 コンチネンズリーダー) 大湾 朝成(株式会社 あさひ訪問看護ステーション 理学療法士) 我那覇 生純(阿蘇さずな歯科医院 院長)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
	14:00-14:05	那覇市三原区自治会 会長 挨拶				島袋 浩明	
	14:05-14:10	那覇市三原共心会 会長 挨拶				大湾 朝夫	
	14:10-14:25	排尿困難に対応する自己導尿				新垣 薫	
2020年7月19日(日)	14:25-14:40	尿失禁と頻尿に効果のある骨盤底筋訓練やってみましょう!				大湾 知子	
	14:40-14:55	すむいずなウンチ出ていますか?				山下 明美	
	14:55-15:10	在宅における訪問看護リハビリ				大湾 朝成	
	15:20-16:30	阿蘇における在宅歯科医療・訪問歯科診療について				我那覇 生純	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	三原区公民館1階会場使用料:2時間1,000円×6時間=3,000円 クレーン使用料1時間100円×6時間=600円						
	合 計			3,600		円	
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 医学部

① 講座名	気持ちよく排泄(尿・便)ができるために！ ～コンチネンスデー～						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	70人	⑤ 修了証の発行	要 ・ ☒ 不要
⑥ 共催など	NPO法人日本コンチネンス協会沖縄県支部						
⑦ 会場	琉球大学医学部保健学科					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	コンチネンスとは、排尿や排便が正常の状態や、障がいがあっても排泄がコントロールできている状態を表言葉です。今回、排泄ケア専門であるコンチネンスリーダーとコンチネンスアドバイザーから食と排泄の重要性について学びます。すべての人が気持ちの良い排泄ができるように、排泄障がいの予防や治療、支援、開発、教育などを行い予防に努めています。この講座を受けることにより、尿失禁や便失禁がなく気持ちよく排泄ができている状態の正しい知識の習得、専門病院への受診を選択するチャンスに恵まれます。さらに排尿自立にむけた対応と骨盤底筋訓練の理論と実演を体感することによってコンチネンスケアへの理解が深められます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名) 石川 侑人(琉球大学病院 看護師 コンチネンスリーダー) 長嶺 ふじ子(コンディショニングサロン～マハナラボ～ 作業療法士 コンチネンスリーダー) 吉村 美由紀(医療法人真徳会 沖縄メディカル病院 看護師 コンチネンスリーダー) ○大湾 知子(琉球大学医学部保健学科成人・がん看護学 准教授 コンチネンスリーダー) 西村 かおる(日本コンチネンス協会会長 コンチネンスアドバイザー)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
	14:00-14:15	急性期病棟における排尿自立指導				石川 侑人	
	14:15-14:30	生活リハビリでスムーズな排尿・排便				長嶺 ふじ子	
2020年12月5日(土)	14:30-14:45	高齢者における排尿ケアの取り組み				吉村 美由紀	
	14:45-15:00	尿失禁と頻尿の改善に骨盤底筋訓練				大湾 知子	
	15:00-15:30	腸内環境のしくみ～食と排泄～				西村 かおる	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	会場費は日本コンチネンス協会沖縄県支部が捻出します。西村かおる講師のみ謝金お願いいたします。 謝金:6,230円×1/2時間=3,115円						
	合 計				3,115	円	
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 保健学科 成人・がん看護学

① 講座名	がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	50 人	⑤ 修了証の発行	要 ☐ 不要 ☒
⑥ 共催など	国立病院機構 沖縄病院						
⑦ 会場	国立病院機構 沖縄病院 会議室					⑧ サテライト配信	可 ☐ 否 ☒
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ア)福祉・健康に関する講座			
⑩ 材料費等の有無	有 ☒ 無 ☐	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	沖縄県におけるがんによる死亡数は毎年約2700人で、全死亡の1/3を占めています。 がんと診断され、治療やケアを受けるプロセスにおいて、患者および家族が抱える身体的・心理社会的苦痛について理解し、患者本人をサポートする上でご家族や重要他者の果たす役割は大きいと考えます。 このような視点より、本公開講座では、がん患者のQOL(Quality of Life: 生命の質/生活の質)向上に寄与する緩和ケアについて、広くご理解いただくことを目的にプログラムを構成しました。一般市民の皆様とともにがん患者の緩和ケアについての知識を共有できる場として、本公開講座を提供したいと思います。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○照屋 典子 (琉球大学医学部成人・がん看護学・教授)						
	久志 一郎 (国立病院機構 沖縄病院 医師)						
	築田 晃直 (国立病院機構 沖縄病院 緩和薬物療法認定薬剤師)						
	奥間かおり (国立病院機構 沖縄病院 緩和ケア認定看護師)						
	赤坂さつき (国立病院機構 沖縄病院 管理栄養士)						
	大湾 勤子 (国立病院機構 沖縄病院 医師)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
9月12日(土)	13:00～13:30(30分)	緩和ケア概論				照屋 典子	
	13:30～14:20(50分)	がんの痛みを癒す疼痛コントロールの実際				久志 一郎	
	14:30～15:00(30分)	がんの痛みを和らげる薬剤について				築田 晃直	
	15:00～15:20(20分)	沖縄病院緩和ケア病棟/緩和ケアチーム活動の紹介				奥間かおり	
	15:20～15:40(20分)	がん治療中の食事と栄養について				赤坂 さつき	
	15:40～16:00(20分)	総合討論/質疑応答				大湾・照屋	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	・講師謝金: @6,230円×50分×1名=5,191円(久志) ・講師謝金: @6,230円×30分×1名=3,115円(築田) ・講師謝金: @6,230円×20分×3名=6,230円(奥間・赤坂・大湾) ・学生雇上げ(3名)・・・単価 762円×8時間(冊子資料作成3時間+当日運営5時間)×3名(小計 18288円) ・A4コピー用紙(1箱5ペ入り)単価1800円×1箱・・・(小計 1800円) ・製本ファイル(5冊入り/袋 単価500円)×10袋・・・(小計5000円) ・フラットファイル(A4タテ単価50円)×20冊・・・(小計1000円)						
	合 計				40,624		円
⑰ 備 考							

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 医学部

① 講座名	楽楽ランニングで目指せ！ NAHAマラソン完走！！						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	40 人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	琉球大学医学部保健学科講義室、琉球大学陸上競技場、大学構内及び周辺道路					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ア)福祉・健康に関する講座			
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	0 円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	「NAHAマラソン」は、3万人がエントリーする国内を代表する一大スポーツイベントとして、今年36回の大会を迎える。また、おきなわマラソンも、嘉手納基地内を走る人気の大会です。しかしながら、アップダウンのあるコースで、完走率は70%ほどで、多くのランナーが悔しい思いをしています。 本講座は、ランニング科学に基づいた適切な理論と実技指導により、NAHAマラソンやおきなわマラソンの完全走破を目指すあなたをサポートします。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○尾尻義彦(医学部保健学科・助教、博士(医学)、ランニング学会認定指導者)						
⑮ プログラム							
実施日	時間	講座内容		集合場所	担当講師		
7月11日(土)	09:00～12:00	講義:楽楽ランニングとマラソントレーニング、体脂肪検査 実技:楽楽ランニング		琉球大学医学部保健学科講義室	尾尻義彦		
8月1日(土)	09:00～12:00	講義:NAHAマラソンに向けてのトレーニング 実技:楽楽ランニング		琉球大学医学部保健学科講義室	尾尻義彦		
8月22日(土)	09:00～12:00	講義:乳酸を活かしたランニング 実技:楽楽ランニング		琉球大学医学部保健学科講義室	尾尻義彦		
9月12日(土)	09:00～12:00	講義:ランニングと脂肪代謝、体脂肪検査 実技:ガチ・ユル走		琉球大学医学部保健学科講義室	尾尻義彦		
10月10日(土)	09:00～12:00	実技:峠走で心肺機能と脚力アップ※ (会場:本部町八重岳)		本部町八重岳桜の森公園駐車場	尾尻義彦		
11月7日(土)	09:00～14:00	講義:NAHAマラソンの走り方 実技:12分間走		琉球大学医学部保健学科講義室	尾尻義彦		
11月14日(土)	09:00～14:00	実技:チャレンジ3時間走(沖縄県総合運動公園、泡瀬)※		総合運動公園キャンプ場	尾尻義彦		
12月12日(土)	09:00～12:00	講義:NAHAマラソンを走り終えて、体脂肪検査 実技:楽楽ランニング		琉球大学医学部保健学科講義室	尾尻義彦		
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	バス移動(大学と本部町八重岳往復):8,000円 ※学生アルバイト(ランニング実技サポート、のべ2名):6,000円 学生旅費(千原事業所⇄本部町)片道2,300円×2@2名=9,200円						
	合 計			15,200		円	
⑰ 備 考	実施日と時間、順序に関しては変更になる場合があります。 開催会場については、決まりしだいお知らせします。 受講者は個人でスポーツ安全保険等に参加することが望ましい。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 医学部保健学科

① 講座名	看護職の研究力アップ講座						
② 講座の種類	一般 ・ ☒ 専門	③ 受講対象者	臨床看護研究を実施予定または実施中の看護職	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要 ・ ☒ 不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	琉球大学医学部保健学科棟2階 213室					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 不可
⑨ 受講料	① 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入)				
	2,670円		理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	現在、看護研究は多くの医療機関で行われています。でも、実際に研究をするとなると、研究テーマはこれでいいのだろうか？結果をどうまとめて発表したたらいいかわからない……。研究の相談にのってくれる人がいたら……。いろいろな悩みがあると思います。 本講座では、看護研究に役立つ基礎知識が学べる講座です。 日頃の業務で感じている看護の疑問や課題を解決するために、研究をしてみませんか？						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名) ○遠藤由美子(医学部保健学科准教授) 眞榮城千夏子(医学部保健学科講師) 高原美鈴(医学部保健学科助教) 平安名由美子(医学部保健学科助教) 玉城陽子(医学部保健学科助教) 豊里竹彦(医学部保健学科教授) 與古田孝夫(医学部保健学科教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
6月20日(土)	14:00～16:00	①現場の課題をどう研究につなげる？ (看護研究概論、研究計画書作成についての講義、グループワーク、個別相談)				全講師	
9月05日(土)	14:00～16:00	②現場の課題をどう研究につなげる？ (看護研究概論、研究計画書作成についての講義、グループワーク、個別相談)				全講師	
11月14日(土)	14:00～16:00	③効果的な発表のために(パワーポイントを使った発表原稿の作り方:講義と演習、個別相談)				全講師	
1月23日(土)	14:00～16:00	④効果的な発表のために(パワーポイントを使った発表原稿の作り方:講義と演習、個別相談)				全講師	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙(A4 500枚入@400×15)=6,000円 フラットファイル(@530×30)、クリップファイル(@760×7)=21,220円 プリンタートナー(@12,000×1)=12,000円 ボールペン(@170×15)、ホワイトボードマーカー(@100×2)=2,750円						
	合 計				41,970 円		
⑰ 備 考	本講座は1回完結型の講座です。同じ内容を2回ずつ開講しますので、ご都合がつく回を受講ください。 研究概論(①、②)は6/20(土)か9/5(土)のいずれか、効果的な研究発表(③、④)は、11/14(土)か2021年1/23(土)のいずれか一方の日を選んで受講ください。 申込時に受講予定日をご連絡ください。受講予定者少数の回は、開講しないことがあります。 研究の個別相談の時間がありますので、相談を希望の方は研究計画書等資料をご持参下さい。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	電子工作教室(ミニ四駆とLEDを題材に)					
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学5・6年生	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行 ☒ 要 ・ 不要
⑥ 共催など						
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館2階226教室(電気基礎実験室)・同館2階217-2教室(ものラボ)				⑧ サテライト配信	☒ 可 ・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座		
	0 円					
⑩ 材料費等の有無	☒ 有 ・ 無	⑪ 材料費等の金額	1,000 円	⑫ 材料費等の内訳	乾電池2本+ミニ四駆1台 55円+1,100円=1,155円	
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	本講座は、子供たち(主に小学生高学年)を対象に、模型工作および電子工作を通して、ものづくりの楽しさを体感していただくことを目的としています。特に、半田ごて等の電子工作用道具を実際に利用していただきながら、その使用法と、簡単な電子回路について学ぶことができます。また、工作後、実際にミニ四駆サーキットにて試走させることができます。					
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)					
	☐ 金城 光永(工学部電気電子工学科准教授)					
	☐ 勢理客 勝則(工学部技術部技術職員)					
	☐ 山下 大輔(工学部技術部技術職員)					
	☐ 渡慶次 高也(工学部技術部技術職員)					
	☐ 大城 諒士(工学部技術部技術職員)					
	☐ 仲宗根 宏貴(工学部技術部技術職員)					
⑮ プ ロ グ ラ ム						
実施日	時間	講座内容				担当講師
8月8日(土)	17:00~19:00	事前準備				上記6名全員
8月9日(日)	09:30~11:00	直前準備				//
//	12:00~	受付開始				//
//	12:30~17:00	LED電子工作・ミニ四駆工作(電気基礎実験室), 試走(ものラボ)				//
//	~17:30	片付け				//
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	・学生アルバイト(10名): 時給760円×(7(当日)+2(事前準備))時間×10名分=68,400円 ・アルバイト事前トレーニング用基板材料・加工費: 1,300円×5セット=6,500円 ・受講生用基板加工費: 300円×10セット=3,000円(材料費1,000円は受講生より徴収のため, 1セット300円) ・その他消耗品費(受講生への配布資料(工作完了証)用紙及びラミネート加工費): 1,000円					
	合 計			78,900		円
⑰ 備 考	当日に材料費として1,000円を徴収いたします(製作した電子工作部品とミニ四駆はお持ち帰り下さい)。作業に必要な工具はこちらで用意いたしますので、当日ご持参いただく道具等はございません。なお、万一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加して下さい(必須)。また、可能な限り保護者同伴をお願いいたします。 ※内容の詳細等に関するご質問は金城光永(E-Mail: mitsul8@tec.u-ryukyu.ac.jp)までお問い合わせ下さい。					

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	ロボットをつくろう!						
② 講座の種類	一般 ・専門	③ 受講対象者	中学生	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	要 ・不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	工学部3号館305コンピュータ実習室					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0円		理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有 無	⑪ 材料費等の金額	1,000円	⑫ 材料費等の内訳	電子回路部品の一部を負担		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	本講座では、モーターで動くロボットを製作し、ゲームをします。基本プログラムの変更により、ロボットの動き方を変えることができ、プログラミングが体験できます。どのような「ロボット」を作るかはあなた次第です！夏休みの自由研究としていかがでしょうか。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 比嘉 広樹(工学部工学科電気システム工学コース・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月16日(日)	9:00～16:30	ロボット製作、プログラミング、ゲーム					比嘉広樹
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	学生アルバイト(5名):単価760円/時間×13時間×5名分=49,400円 電子回路部品:5,500円×10名分=55,000円 ※文科省が2020年度から小学校プログラミング教育の実施を推進しているが、現中学生はこの教育を受けられない。本講座に参加することでプログラミング体験の提供につながる。						
	合 計			104,400			円
⑰ 備 考	万一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加してください(必須)。活動記録のための写真撮影を行います。撮影した写真は電気電子系活動報告書等に掲載される場合があります。あらかじめご了承ください。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	音の体験教室						
② 講座の種類	一般	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	10人程度	⑤ 修了証の発行	要 ・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館2F残響室・無響室					⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	2670円		理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有	⑪ 材料費等の金額		⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	音響学の体験教室:非日常の音空間の体験・無響室残教室						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○渡嘉敷健(工学部工学科建築学コース)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月8日	13時から15時	音響学の体験教室:非日常の音空間の体験・無響室残教室					代表:渡嘉敷健
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	ICレコーダ 2万円						
	合 計			2万		円	
⑰ 備 考	台風及び自然災害での日程変更						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室(ミラクル万華鏡)						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	小学1～3年生 ※保護者同伴のこと	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	要不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希 望する場合、理由を選 択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	無料						
⑩ 材料費等の有無	有無	⑪ 材料費等の金額	374円	⑫ 材料費等の内訳	偏光フィルム: 3,520円 紙コップ : 110円 テープ : 110円 計3,740円÷10人=374円/1人		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	【趣旨】ものづくりの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 【内容】偏光板を用いて万華鏡を作ります。「ひかり(光)はなみ(波)である」ことを遊びながら勉強しましょう。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○仲宗根宏貴(工学部技術部・技術職員)						
	山下大輔(工学部技術部・技術職員)						
	廣瀬幸三郎(工学部技術部・技術職員)						
	宮里信寿(工学部技術部・技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8/1(土)	9:00～11:00	ミラクル万華鏡の作成					仲宗根宏貴 山下大輔 廣瀬孝三郎 宮里信寿
⑯ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品類3,000円						
	合 計			3,000		円	
⑰ 備 考	・ 万一の事故に備え、各自で任意の保険に加入して下さい。 ・ 熱中症対策として、各自で飲み物をお持ちください。 ・ 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申込みください。 ・ 当日は必ず保護者同伴でお願いいたします。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室「電気工事を体験しよう(小学生対象コース)」					
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	小学生4-6年	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行 要 不要
⑥ 共催など						
⑦ 会場	工学部2号館118室(電力実験室)				⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座		
	0 円					
⑩ 材料費等の有無	有 ・無	⑪ 材料費等の金額	1,100円	⑫ 材料費等の内訳	スイッチ、照明器具、LED、抵抗、単3乾電池他 計11,150円÷10人=1,115円	
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容:電気工事用工具を使用して、7色に光るLEDを点灯させる回路を作ります。電気工事の体験を通して電気の流れる仕組みを学びます。					
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)					
	○渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)					
	勢理客 勝則(工学部技術部 技術専門職員)					
	大城 諒士(工学部技術部 技術職員)					
⑮ プ ロ グ ラ ム						
実施日	時間	講座内容				担当講師
8月1日(土)	9:00-12:00	電気工事作業を体験するとともに、LEDを点滅させる回路を製作する。				全講師
⑯ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材-主にケーブルなど):10,000円					
	合 計			10,000	円	
⑰ 備 考	万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加してください(必須)。 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。また、当日は必ず保護者同伴でお願いします。					

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室「電気工事を体験しよう(中学生対象コース)」					
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	中学生	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行 ☒ 要 不要
⑥ 共催など						
⑦ 会場	工学部2号館118室(電力実験室)				⑧ サテライト配信	可 ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座		
	0 円					
⑩ 材料費等の有無	☒ 有 ・ 無	⑪ 材料費等の金額	1400円	⑫ 材料費等の内訳	スイッチ、照明器具、LED、抵抗、単3乾電池他 計13,640円÷10人=1,364円	
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや, 不思議さ等の体験を通して, 子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容:電気工事用工具を使用して, 7色に光るLEDを点灯させる回路を作ります。電気工事の体験を通して電気の流れる仕組みを学び ます。					
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)					
	○渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)					
	玉那覇 厚雄(工学部技術部 技術専門職員)					
	仲宗根 宏貴(工学部技術部 技術職員)					
⑮ プ ロ グ ラ ム						
実施日	時間	講座内容				担当講師
8月1日(土)	13:00-17:00	電気工事作業を体験するとともに、LEDを点滅させる回路を製作する。				全講師
⑯ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材-主にケーブルなど):15,000円					
	合 計			15,000		円
⑰ 備 考	万が一の事故に備えて, 各自で任意の傷害保険等に参加してください(必須)。 講座中に写真撮影を行い, 工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上, お申 し込みください。また, 当日は保護者同伴可能です。					

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室 ― 合金を溶かして風鈴づくり						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学校5・6年生	④ 募集人数	8 人	⑤ 修了証の発行	☒ 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部 付属工作工場 鋳物室					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	無料 円						
⑩ 材料費等の有無	☒ 有 ・ 無	⑪ 材料費等の金額	1, 000 円	⑫ 材料費等の内訳	・ホワイトメタル 8, 000円÷8人=1, 000		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨：もの作りの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容：鋳物砂で作った型の中に、溶けた合金(比較的低融点の金属)を流し込み風鈴を作る。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○與那覇 敏明(工学部技術部 技術専門職員)、大城 成栄(工学部技術部 技術専門職員)						
	宮城 紀良(工学部技術部 技術専門職員)、山里 將史(工学部技術部 技術職員)						
	我如古 将斗(工学部技術部 技術職員)、安江 洋人(工学部技術部 技術職員)						
	山下 大輔(工学部技術部 技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月1日(土)	13:00～17:00	合金を溶かして風鈴づくり					與那覇敏明 大城成栄 宮城紀良 山里將史 我如古将斗 安江洋人 山下大輔
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材)：5, 000円						
	合 計			5,000			円
⑰ 備 考	万が一の事故に備えて、各自で任意の障害保険等に参加して下さい。 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてWeb等に公開する場合があります。予めご了承の上 お申し込み下さい。また、当日は保護者の皆様は作業場外の窓からの見学となります。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室 – まわりつづけるコマ						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	小学校4～6年生	④ 募集人数	8 人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	無料 円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	700円	⑫ 材料費等の内訳	磁石90円/人, 電子材料等370円/人, 木材, 乾電池等100円/人, 容器代60円/人, ホットボンド等接着類50円/人, ボルト類30円/人		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや, 不思議さ等の体験を通して, 子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容:エナメル線を巻いた電磁石と磁石のコマを作製します。磁石で「入」, 「切」できるスイッチを使うことで電気が発生し, その電気で まわりつづけるコマを作りましょう。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○勢理客 勝則(工学部技術部 技術専門職員)						
	淵脇 秀晃(工学部技術部 技術専門職員)						
	大城 諒士(工学部技術部 技術職員)						
	長田 克之(工学部技術部 再雇用職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月1日(土)	13:00～17:00	電磁石, 磁石コマの作製					勢理客勝則 淵脇秀晃 大城諒士 長田克之
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):5, 000円 工学部技術部が提供する夏休み工作教室全11テーマ共通の消耗品費:18,000円 内訳:のぼり旗設置用のくいの材料:ステンレスパイプ(φ34mm, t3.0-3.5, 4m)8, 000円×2, 送料2,000円						
	合 計			23,000			円
⑰ 備 考	万が一の事故に備えて, 各自で任意の傷害保険等に参加してください。 熱中症対策として, 各自飲み物をお持ちください。 講座中に写真撮影を行い, 工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上, お申し込みください。また, 当日は必ず保護者同伴でお願いします。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室－ホバークラフト						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学1～3年生 (保護者同伴のこと)	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	☒ 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) ☒ 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	無料 円			ウ) 児童・生徒を対象とする講座のため			
⑩ 材料費等の有無	☒ 有 ・ 無	⑪ 材料費等の金額	600円	⑫ 材料費等の内訳	容器など本体使用品150円/人、電子部品類200円/人、装飾品費150円/人、ホットボンド等接着剤50円/人、電池50円/人		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや, 不思議さ等の体験を通して, 子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容: モーターを用いてホバークラフトを作ります。「気圧」って何だろう? を遊びながら勉強しましょう。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○大城 諒士(工学部技術部・技術職員)						
	玉那覇 厚雄(工学部技術部・技術専門職員)						
	名嘉 秀和(工学部技術部・技術職員)						
	山下 大輔(工学部技術部・技術職員)						
	渡慶次 高也(工学部技術部・技術職員)						
	東舟道 裕亮(工学部技術部・技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月8日(土)	9:00～11:00	ホバークラフトの作製					大城 諒士 玉那覇 厚雄 名嘉 秀和 山下 大輔 渡慶次 高也 東舟道 裕亮
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	消耗品費(指導に必要な資材):10,000円						
	合 計			10,000		円	
⑰ 備 考	・ 万一の事故に備えて、各自で任意の保険に加入してください。 ・ 熱中症対策として、各自で飲み物をお持ちください。 ・ 講座中に写真撮影をおこない、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。 ・ 当日は必ず保護者同伴でお願いします。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	電子回路の製作						
② 講座の種類	一般 専門	③ 受講対象者	小学4～6年生	④ 募集人数	12 人	⑤ 修了証の発行	要 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0 円						
⑩ 材料費等の有無	有 無	⑪ 材料費等の金額	1,000円	⑫ 材料費等の内訳	電子部品, 電池, ケース他 計13.863円÷12人=990.2		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:もの作りの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容:ブレッドボードという配線器具もしくは、基板を使って電子回路の実験装置を作ります。 装置はマイクロコンピュータを使用したテレビゲームまたはラジオ等を予定しています。詳しい内容は技術部webページの夏休み工作 教室(http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/Engineering-Division/)をご覧ください。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 山下 大輔(工学部技術部技術職員)						
	我如古 将斗(工学部技術部技術職員)						
	大城 諒士(工学部技術部技術職員)						
	仲宗根 宏貴(工学部技術部技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月8日	13:00-17:00	電子回路の製作					山下 大輔 我如古 将斗 大城 諒士 仲宗根 宏貴
⑯ 必要経費希望額 の積算内訳							
	合 計					0 円	
⑰ 備 考	万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加してください(必須)。講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室 - デスクトップPC組み立て・LANケーブル製作体験 -						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	中学生	④ 募集人数	8 人	⑤ 修了証の発行	☒ 要 不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	工学部2号館217-2号室「ものラボ」					⑧ サテライト配信	可 ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有 ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	趣旨:既に普及しているPCについて、パーツからの組み立て体験・周辺機器(LANケーブル)の作製・それらの説明を聞いてもらうことで、より身近な技術に興味を持ってもらうことを目的としています。 内容:デスクトップPCのパーツを自分で組み上げる「自作PC」の体験と、フリーOSのインストール体験、LANケーブルの作製体験をしてもらいます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 翁長 竜盛 (琉球大学工学部技術部 技術職員)						
	名 嘉 秀和 (琉球大学工学部技術部 技術職員)						
	長 田 克之 (琉球大学工学部技術部 再雇用職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8/8(土)	13:00 ~ 17:00	自作PCの組み立て・OSのインストール・LANケーブル自作作業					翁長 竜盛
							名 嘉 秀和
							長 田 克之
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	インストールメディア用DVD+ケース 10枚分 1,200円 インストールメディア書き込み用DVDドライブ 3,000円 LANケーブル等の消耗品はまだ余裕があるが、インストールメディアに関して、昨年まで部署で持っていた在庫のディスク、DVDドライブを使用していたが、在庫がなくなり、ドライブも古くなって破損してしまった為、購入したい。						
	合 計				4,200		円
⑰ 備 考	・ 万一の事故に備え、各自で任意の保険に加入して下さい。 ・ 熱中症対策として、各自で飲み物をお持ちください。 ・ 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申込みください。 ・ 当日は必ず保護者同伴可能です。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み体験教室－エンジンの中をのぞいてみよう！－						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	中学生	④ 募集人数	4 人	⑤ 修了証の発行	要 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	工学部附属工作工場					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない 場合(増額、減額) の理由→ 又は 全学免除(無料)を 希望する場合の 理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を 希望する場合、理由 を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	500円	⑫ 材料費等の 内訳	エンジンヘッドガスケット一式2,000円		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	(趣旨) 身の回りにあるが、普段は中々触れることの無い自動車のエンジンについて、その仕組みを学ぶ機会を設けることで、子どもたちが機械工学分野に興味を持ってもらうことを目的としています。 (内容) はじめに、エンジンが始動することを確認し、冷却している間に内部の構造や燃焼の仕組みを学びます。その後、実際にエンジンを分解し、各部品の役割等を確認しながら、正確に組立てを行います。最後に、エンジンが始動することを確認し、終了となります。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○山里 将史(工学部技術部・技術職員)						
	大城 成栄(工学部技術部・前任技術専門職員)						
	勢理客 勝則(工学部技術部・技術専門職員)						
	佐久本 華乃(工学部技術部・技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
2020/8/8	13:00-17:00	エンジンの仕組み(座学)、分解及び組立て(実技)					山里 将史 大城 成栄 勢理客 勝則 佐久本 華乃
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	初年度なので必要な工具を計上しています。 デジタルトルクレンチ(SK11 SDT3-060) 15,000円 ガソリンサブタンク 2,500円 シックネスゲージ 1,000円 タペットアジャストレンチ 2,000円						
	合 計			20,500		円	
⑰ 備 考	・ 万一の事故に備えて、各自で任意の保険に加入して下さい。 ・ 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室 ― 折り紙建築						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	小学校5, 6年生	④ 募集人数	8 人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	工学部2号館2階 技術部室					⑧ サテライト配信	可・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	無料 円						
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	300 円	⑫ 材料費等の内訳	北雪ケント紙 1㍻(100枚) B4(180k)=2,200円 (10枚×8名+予備20枚=100枚) (¥2,200÷8名=¥275≒¥300)		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:もの作りの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容:ケント紙を使って、飛び出す絵本の様な「折り紙建築」(世界遺産を中心に)を製作する。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○淵脇秀晃(琉球大学工学部技術部 技術専門職員)						
	廣瀬孝三郎(琉球大学工学部技術部 技術職員)						
	東舟道裕亮(琉球大学工学部技術部 技術職員)						
	宮里信寿(琉球大学工学部技術部 技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月8日(土)	13:00～17:00	ケント紙を使った「折り紙建築」					淵脇 秀晃 廣瀬 孝三郎 東舟道 裕亮 宮里 信寿
⑯ 必要経費希望額 の積算内訳							
	合 計						円
⑰ 備 考	1. 万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加してください(必須)。 2. 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。 3. 熱中症対策で、各自飲み物をご持参ください。 4. 当日は、必ず保護者同伴をお願いします。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部技術部

① 講座名	夏休み工作教室-固形燃料で走る船						
② 講座の種類	一般 ・専門	③ 受講対象者	小学生5,6年	④ 募集人数	14人	⑤ 修了証の発行	要 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	工学部1号館1－122室(学生学習室)					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	無料円						
⑩ 材料費等の有無	有 ・無	⑪ 材料費等の金額	500円	⑫ 材料費等の内訳	銅パイプ、発泡スチロール、パルサ材等7000円÷14人＝500円		
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものの作りの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容:熱機関を利用したポンポン船を製作しながら、動作原理や金属加工などを学びます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○宮城 紀良 (工学部技術部 技術専門職員)			照屋 泰彦 (工学部技術部 技術専門職員)			
	與那覇 敏明 (工学部技術部 技術専門職員)			名嘉 海人 (工学部技術部 技術専門職員)			
	安江 洋人 (工学部技術部 技術職員)			野原 幸則 (工学部技術部 再雇用技術職員)			
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8/8(土)	13:00～1700	固形燃料で走る船(ポンポン船)					上記全員
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	固形燃料、塗装用マーカー、カッターナイフ、ライター、トーチ用燃料等: 5, 000円						
	合 計			5,000			円
⑰ 備 考	万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加して下さい。 船を走らせる時、足元が滑りやすくなりますのでズボンに靴を履いて下さい。また、熱中症予防の為、各自飲み物を準備して下さい。講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上お申込み下さい。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	シニアのための健康サッカー講座						
② 講座の種類	一般 ・専門	③ 受講対象者	40歳以上のサッカーに興味がある方	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など	琉球大学（共催:琉大女子サッカー部、沖縄県シニアサッカー連盟）						
⑦ 会場	学内（琉球大学千原キャンパスのサッカーグラウンド）					⑧ サテライト配信	可・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り （下記に金額記入） 2. 表によらない （金額及び理由を記入）	単価表によらない場合 （増額、減額）の理由 → 又は 全学免除（無料）を希望する場合の理由→	理由 （単価表によらない場合のみ記入）	ア) 福祉・健康に関する講座			
	0円		理由 （全学免除（無料）を希望する場合、理由を選択）				
⑩ 材料費等の有無	有 ・無	⑪ 材料費等の金額	1,000 円	⑫ 材料費等の内訳	グラウンド整備費		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	中高年の健康づくりの一環として40歳以上のサッカー愛好者をつどい、生涯スポーツの習慣化を図る。毎週2回(水、金)グラウンドにてサッカーの仲間とゲームを楽しみ、語り合う機会を提供し健康づくりを第一義とする。交流のためのケーム設営および運営は自主的にを行うこととする。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	姜 東植○						
	笹澤 吉明						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
2020/8/1～9/31 毎週水・金	19:00-21:00	交流試合およびケーム運営					姜 東植 笹澤 吉明
2021/2/1～3/31 毎週水・金	19:00-21:00	交流試合およびケーム運営					姜 東植 笹澤 吉明
<予備日> 2020/12/23,25,29	19:00-21:00	交流試合およびケーム運営					姜 東植 笹澤 吉明
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	特になし						
	合 計				1,000 円		
⑰ 備 考	■備考／上記の実施日以外は、琉大女子サッカー部の部活時間に、共同で活動を行う。 ■注意／万一の事故に備えて各自で任意の傷害保険等に参加してください。（必須）						

令和2年度公開講座実施計画書

部局名工学部

① 講座名	沖縄の公害問題で考える平和学習						
② 講座の種類	一般・ <u>専門</u>	③ 受講対象者	市民一般	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	<u>要</u> ・不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館2階小会議室					⑧ サテライト配信	<u>可</u> ・否
⑨ 受講料	<u>1. 単価表の通り</u> (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	3,180 円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	沖縄県内にある米軍専用施設は日本全国の70%が集中しています。米軍基地から派生する公害には、「典型七公害」と呼ばれる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭、地盤沈下の問題が少なからず見られる。本講座では、米軍航空機の騒音問題及び、 <u>基地から派生すると思われる</u> 有害物質による土壌汚染、水質汚染の現状の問題について調査結果もとに解説します。さらに、70年以上前に行われた沖縄での地上戦争における平和学習を環境面で考える事の重要性を話します。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	☐ 渡嘉敷健(工学部工学科准教授)						
	☐ 田代 豊(名桜大学教授)						
	☐ 河村雅美(沖縄国際大学非常勤講師)						
⑫ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
2019/11/2	13:00-15:00	沖縄の米軍基地から発生する航空機騒音に関する調査研究					渡嘉敷健
2019/11/9	13:00-15:00	沖縄本島中部地域を中心とする環境汚染					田代 豊
2019/11/16	13:00-15:00	基地からの汚染による、わたしたちの水の危機					河村雅美
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	外部講師謝金:2h×@6,230×2d=¥24,920 学生アルバイト(3名):単価760円(1時間)×3時間×3名分=6,840円 USBフラッシュメモリ(3個):2G 1,260円×3個=3,780円 その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円						
	合 計					40,540 円	
⑭ 備 考							

部局名 工学部

① 講座名	ホールマネージメント						
② 講座の種類	一般 ・ 専門	③ 受講対象者	ホール技術者及び一般	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館2F残響室・無響室及び小会議室					⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	3180円		理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	ホールマネージメントでは、文化施設や文化芸術振興分野で働く社会人及び興味を抱く人を対象として、芸術・マネジメント・工学を三本の柱に据え、総合的かつ実践的な知識の習得を提供したいと考えています。今回の講座では、音響学、音響設計、音空間の体験・無響室残響室内実験や愛される音楽ホールのつくりかた：沖縄シュガーホールとコミュニティ及びオーケストラ楽団員の練習から演奏会までの体験談について実演を行いながら解説いたします。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○渡嘉敷健(工学部工学科建築学コース)						
	林 峰栄(沖縄交響楽団コンサートマスター)						
	人選中						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
10月4日	13時から15時	音響学、音響設計、音空間の体験・無響室残教室内実験				渡嘉敷健	
10月11日	13時から15時	劇場の指定管理制度。県内劇場の自主企画及び貸し館業務について				渡嘉敷健	
10月18日	13時から15時	オーケストラ楽団員の練習から演奏会までの体験談				林 峰栄	
10月25日	13時から15時	舞台演出について				人選中	
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	外部講師謝金:2h×@6,230×2d=¥24,920、ホール使用料:5万円						
	合 計			74,920			円
⑰ 備 考	台風及び自然災害での日程変更						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・上期)						
② 講座の種類	一般・ 専門	③ 受講対象者	市民一般並びに大学生	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館313室					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	大学生の受講料は半額を希望します。			
	3,700円 (大学生は1,850円)						
⑩ 材料費等の有無	有・ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格です。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要します。本講座では電気工事士施行令第8条にある7つの試験範囲(基礎理論、配電理論など)をわかりやすく解説し、過去問題を盛り込んで計算問題や配線図問題の解き方などが学べます。この講座は初心者の方やしっかり理論を学んで資格を取りたい方にお勧めします。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)						
	勢理客 勝則(工学部技術部 技術専門職員)						
	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)						
	山下 大輔(工学部技術部 技術職員)						
	仲宗根 宏貴(工学部技術部 技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
4月18日(土)	9:00～12:00	「基礎理論」				比嘉 晃 勢理客 勝則 渡慶次 高也 山下 大輔 仲宗根 宏貴	
5月25日(土)		「配電理論及び配線設計」,「一般用電気工作物の保安に関する法令」					
5月9日(土)		「電気工事の施工方法」					
5月16日(土)		「電気機器, 配線器具並びに電気工事用の材料及び工具」,「一般用電気工作物の検査方法」					
5月23日(土)		「配線図」					
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	その他消耗品(印刷用紙代等): 10, 000円						
	合 計			10,000		円	
⑰ 備 考	本講座ではオーム社の「第二種電気工事士筆記完全マスター第2版」(ISBN:978-4-274-50716-8)を使用します。各自持参するようにしてください。 *第二種電気工事士試験の詳細は(財)電気技術者試験センターホームページにてご確認ください。 *お問合せは勢理客勝則(E-Mail: seri@eee.u-ryukyu.ac.jp, Tel:098-895-8644, Fax:098-895-8708)にお願いします。 WEB予約サイト掲載希望期間: R2. 3/20(金)～4/17(金)						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・下期)						
② 講座の種類	一般 ☒ 専門	③ 受講対象者	市民一般並びに大学生	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 ☒ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館313室					⑧ サテライト配信	可 ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	大学生の受講料は半額を希望します。			
	3,700円 (大学生は1,850円)						
⑩ 材料費等の有無	有 ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格です。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要します。本講座では電気工事士施行令第8条にある7つの試験範囲(基礎理論、配電理論など)をわかりやすく解説し、過去問題を盛り込んで計算問題や配線図問題の解き方などが学べます。この講座は初心者の方やしっかり理論を学んで資格を取りたい方にお勧めします。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	☐ 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)						
	☐ 勢理客 勝則(工学部技術部 技術専門職員)						
	☐ 渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)						
	☐ 山下 大輔(工学部技術部 技術職員)						
	☐ 仲宗根 宏貴(工学部技術部 技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
8月29日(土)	9:00～12:00	「基礎理論」				比嘉 晃 勢理客 勝則 渡慶次 高也 山下 大輔 仲宗根 宏貴	
9月5日(土)		「配電理論及び配線設計」,「一般用電気工作物の保安に関する法令」					
9月12日(土)		「電気工事の施工方法」					
9月19日(土)		「電気機器, 配線器具並びに電気工事用の材料及び工具」,「一般用電気工作物の検査方法」					
9月26日(土)		「配線図」					
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	その他消耗品(印刷用紙代等): 10, 000円						
	合 計			10,000		円	
⑰ 備 考	本講座ではオーム社の「第二種電気工事士筆記完全マスター第2版」(ISBN:978-4-274-50716-8)を使用します。各自持参するようにしてください。 *第二種電気工事士試験の詳細は(財)電気技術者試験センターホームページにてご確認ください。 *お問合せは勢理客勝則(E-Mail: seri@eee.u-ryukyu.ac.jp, Tel:098-895-8644, Fax:098-895-8708)にお願いします。 WEB予約サイト掲載希望期間: R2.7/31(金)～8/21(金)						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	第二種電気工事士試験対策講習(技能・上期)						
② 講座の種類	一般・ 専門	③ 受講対象者	市民一般並びに大学生	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	大学生の受講料は半額を希望します。			
	4,730円 (大学生は2,365円)						
⑩ 材料費等の有無	有 ・無	⑪ 材料費等の金額	5,000 円	⑫ 材料費等の内訳	VVVF1.6-2C, IV1.6など各種電線3,700円/人 スイッチ, リングスリーブなど電材1,300円/人 全8回分合計の材料費となります。		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格です。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要します。本講座では(財)電気技術者試験センターから公表された候補問題13問題を実際に作り、合格するために必要な基礎的技術を学ぶことができます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)						
	勢理客 勝則(工学部技術部 技術専門職員)						
	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)						
	山下 大輔(工学部技術部 技術職員)						
	仲宗根 宏貴(工学部技術部 技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
6月6日(土)	9:00～12:00	基本作業, 安全注意並びに候補問題への取り組み					比嘉 晃 勢理客 勝則 渡慶次 高也 山下 大輔 仲宗根 宏貴
～							
7月18日(土)	*6/20, 27(土)は2 回分の講義を行います						
7月11日はお休み	9:00～12:00 13:00～16:00						
全8回実施							
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	・消耗品費(指導するために必要な資材):40,000円 経年劣化する工具のメンテナンス代(補修, 維持), 代替え品購入代(工具は消耗します)が必要となります。 また, 工具メンテナンスやで不定期に物品を購入する場合があります(除湿剤など)。 ・その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円						
	合 計			45,000		円	
⑰ 備 考	作業に必要な工具はこちらで準備いたします(貸出可)。講習は筆記試験合否発表前から行いますので, 筆記試験の自己採点が合格ラインを突破していることをご確認後お申込みください。全8回実施するため2回分を行う日があります。7/11(土)は琉球大学オープンキャンパスのため, お休みとなります。各自で任意の保険にご加入ください(必須)。 *第二種電気工事士の詳細は(財)電気技術者試験センターにお問い合わせください。 *お問い合わせは勢理客勝則(E-Mail: seri@eee.u-ryukyu.ac.jp, Tel:098-895-8644, Fax:098-895-8708)にお願いします。 WEB予約サイト掲載希望期間: R2.5/8(金)～6/5(金)						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	第二種電気工事士試験対策講習(技能・下期)						
② 講座の種類	一般・ 専門	③ 受講対象者	市民一般並びに大学生	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	大学生の受講料は半額を希望します。			
	4,730円 (大学生は2,365円)						
⑩ 材料費等の有無	有 ・無	⑪ 材料費等の金額	5,000 円	⑫ 材料費等の内訳	VVVF1.6-2C, IV1.6など各種電線3,700円/人 スイッチ, リングスリーブなど電材1,300円/人 全8回分合計の材料費となります。		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格です。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要します。本講座では(財)電気技術者試験センターから公表された候補問題13問題を実際に作り、合格するために必要な基礎的技術を学ぶことができます。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)						
	勢理客 勝則(工学部技術部 技術専門職員)						
	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)						
	山下 大輔(工学部技術部 技術職員)						
	仲宗根 宏貴(工学部技術部 技術職員)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
10月17日(土)	9:00～12:00	基本作業, 安全注意並びに候補問題への取り組み					比嘉 晃 勢理客 勝則 渡慶次 高也 山下 大輔 仲宗根 宏貴
～							
12月5日(土)							
毎週土曜日							
全8回実施							
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	・消耗品費(指導するために必要な資材):40,000円 経年劣化する工具のメンテナンス代(補修, 維持), 代替え品購入代(工具は消耗します)が必要となります。 また, 工具メンテナンスやで不定期に物品を購入する場合があります(除湿剤など)。 ・その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円						
	合 計			45,000		円	
⑰ 備 考	作業に必要な工具はこちらで準備いたします(貸出可)。講習は筆記試験合否発表前から行いますので, 筆記試験の自己採点が合格ラインを突破していることをご確認後お申込みください。各自で任意の保険にご加入ください(必須)。 *第二種電気工事士の詳細は(財)電気技術者試験センターにお問い合わせください。 *お問い合わせは勢理客勝則(E-Mail: seri@eee.u-ryukyu.ac.jp, Tel:098-895-8644, Fax:098-895-8708)にお願いします。 WEB予約サイト掲載希望期間: R2.9/18(金)～10/16(金)						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 農学部

① 講座名	3歳児のための子どもシェフクラブ						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	申込時 3歳児	④ 募集人数	人	⑤ 修了証の発行	要・不要
⑥ 共催など	沖縄子ども食育研究会						
⑦ 会場	教育学部本館 306教室					⑧ サテライト配信	可・否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	3, 180円円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	有・無	⑪ 材料費等の金額	3,000円	⑫ 材料費等の内訳	第1回、米、鰹節、アーサ、卵、もち、フルーツ第2回全粉食パン、かまあげシラス、マヨネーズ、チーズ、鰹節、味噌、キュウリ、トマト、砂糖、しょうゆ、油、麦こがし、黒砂糖、第3回は栄養士になる学生献立で残りの金額で献立作成をする		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	3歳児のための子どもシェフクラブの趣旨:この講座は、一人でクッキングすることをとおして、人生の選択能力を育成することが目的です。食は、知育・徳育・体育の基礎となるもので、全てのいのちの源です。食育基本法を受けて策定された保育指針では、「調理」という生活体験が出てくるのが3歳児です。3歳児になると自主的にやりたいという気持ちが芽生えます。その自主性の芽生えをサポートするために、保護者は、手伝わず3歳児ひとりでチャレンジしていく講座です。保護者ご自身も子どもの発達段階を理解した上で、失敗を恐れない、子どもの可能性を信じる教育活動ができるようになるでしょう。、100歳人生の今、お1人様の時代です。幼児が自分の人生を選択する自らクッキングするを身につけていくことはとても重要です。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	森山克子(農学部 健康栄養科学コース 元准教授)						
	☐ 宮城一菜(農学部 健康栄養科学コース 准教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
5月30日(土)	9:00～13:00	講義:なぜ3歳児からクッキングか?(例:おにぎりコロコロ、かちゅーゆ、アーサオムレツ、、フルーツ大福)				森山克子 宮城一菜	
6月6日(土)	9:00～13:00	予定献立:パン献立(例:しらすトースト、ふりふりサラダ、バナナヨーグルト、師範:ナッツいもゆーぬく)				森山克子	
7月4日(土)	9:20～13:00	学生作成献立:麺献立又はごはん献立				森山克子	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	当日の配布用インク:ブラザー3129MFC-J6995CDW LC3129BKブラック1本1,600円、LC3129Mマゼンダ1本1600円、LC3129Cシアン1本1600円、LC3129Yイエロー1600円キヤノン、カラー写真印刷用上質白紙100枚600円、学生アルバイト(2人)単価790円(1時間)×3時間×1日目=4,740円 学生アルバイト(2人)単価790円(1時間)×5時間×2日目=7,900円						
	合 計			31,600		円	
⑰ 備 考	アレルギーの有無や年齢、アンケート調査への協力等を確認した上で参加者を決定させて頂き当方から当選者をお知らせします。 ・食育推進の調査研究に協力頂けるご家族とお子様を対象とし、食事調査や行動調査等についての記録、アンケート等研究にご協力いただける方を条件とします。 ・レクレーション保険は各自でご加入をお願いします。 ・初回、材料費、資料のための3,000円を徴収させて頂きます。 ・エプロン、三角布(バンダナでも可)上履きのご準備をお願いします。献立は(案)のため、変更する場合があります。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 農学部

① 講座名	「ちゃんと食べて ちゃんと学び、ちゃんと生きる」大学生のためのシェフクラブ						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	大学1年次生	④ 募集人数	10	⑤ 修了証の発行	☒ 要 ・ 不要
⑥ 共催など	沖縄子ども食育研究会						
⑦ 会場	教育学部本館 306教室					⑧ サテライト配信	可 ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	本学1年次を対象とするためです。 入学後、生活リズムがみだれことが考えられるので「ちゃんと食べて、ちゃんと学び、ちゃんと生きる」そのための学習支援のシェフクラブです。			
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	☒ 有 ・ 無	⑪ 材料費等の金額	全7回 4,000円	⑫ 材料費等の内訳	第1回,鯉節、精白米,豆腐、味噌、野菜、バナナ、ヨーグルトなどは講師が準備する。2回目以降は参加学生が担当者を決めて準備する。食材の選択など講座で学んだことを実践学習する。		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	大学入試を経て晴れて一年次になったみなさま！。さて、朝ごはんを食べていますか？これから自分の人生が本格的にスタートします。 100歳人生の今、お1人様の時代を生き力は、食事からです。沖縄県は肉類に偏っていて魚介類摂取量は全国でも最下位です。不足しがちな食品もちゃんと食べてちゃんと生き抜く力を身につけましょう。基本的な講義、実習の準備から調理、片付けまでちゃんと学びます。また、沖縄の伝統野菜を使用した料理も学べます。今、100年人生の時代です。3歳児でもできるクッキング～本格的なクッキングの基礎基本からを学んでみませんか？						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)							
	森山克子(農学部 健康栄養科学コース 元准教授)						
	☐ 宮城一菜(農学部 健康栄養科学コース 准教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
5月20日(水)	10:00～16:00	講義:沖縄の実たくさんみそ汁から学ぶ食文化と健康:だしの取り方、包丁の使い方、立ち方など学ぶ 予定献立:豆ご飯、実たくさんみそ汁、バナナヨーグルト、おかかのふりかけ)				森山克子 宮城一菜	
6月10日(水)	10:00～16:00	講義:葉野菜と根菜類の洗い方？ゆでる方、切り方について学ぼう！、水から？お湯から？ 予定献立:パン献立(例:しらすトースト、野菜の和え物、かちゅーゆ、フルーツ大福)				森山克子	
7月8日(水)	10:00～16:00	講義:主菜って何？なぜたんぱく質が必要？ 予定献立:魚のホイル焼き、冬瓜の汁、ナーベラーンブシー、ゆーぬく)				森山克子	
10月14日(金)	10:00～16:00	講義:三歳児クッキングから学ぼう1 予定献立:あさりごはん、ミニオムレツ、フリフリサラダ、さつまいものおやつ				森山克子	
11月20日(金)	10:00～16:00	講義:琉球王朝の宮廷料理を覗いてみよう 予定献立:菜飯、アーサ汁、ターウムから揚げ、スヌイの酢の物				森山克子	
12月12日(金)	10:00～16:00	講義:沖縄の行事を学ぼう1 予定献立:トンジージューシ、小煮、すまし汁、ウンスナバーの白和え				森山克子	
1月8日(金)	10:00～16:00	講義:沖縄の行事を学ぼう2 予定献立:ムーチ、ヒラヤーチー、伝統野菜の七草粥、三月菓子				森山克子	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	当日の配布用インク:ブラザー3129MFC-J6995CDW LC3129BKブラック1本1,600円、LC3129Mマゼンダ1本1600円、LC3129Cシアン1本1600円、LC3129Yイエロー1600円キヤノン、カラー写真印刷用上質白紙100枚600円、学生アルバイト(2人)単価790円(1時間)×4時間×7日間＝44,240円						
	合 計			51,240		円	
⑰ 備 考	・食の自己管理能力や沖縄の食文化の継承や調理の基礎基本を身につけたいという意欲の高い方を希望します。 ・講義に合わせて、沖縄の食文化、野菜、朝食についての調べ学習をします。 ・初回、材料費、資料のための4,000円を徴収させていただきます。 ・エプロン、三角布、ご準備をお願いします。マニキュアは落とし、爪も切ってください。 ※献立は(案)のため、変更する場合があります。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	心理リハビリテーション・ボランティア養成講座						
② 講座の種類	一般 ・ ☒ 専門	③ 受講対象者	教育・福祉・医療従事者、障がい児(者)の家族、学生等	④ 募集人数	50人	⑤ 修了証の発行	要 ・ ☒ 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	琉球大学大学会館3階特別会議室					⑧ サテライト配信	☒ 可 ・ ☐ 否
⑨ 受講料	①. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	イ) 福祉的配慮が必要な方を対象とする講座			
	0円	全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	☒ 有 ・ ☐ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	心理学で「からだ」というとき、それは肉体ばかりでなく、同時に「わたし(自我)」という「こころ」の存在を意味します。心理リハビリテーションは、障がいのある人の心身の成長・健康を支援する方法として開発されましたが、現在は障がいのある・なしに関わりなく、心身のコンディションを高め・維持する方法として日本全国で活用されています。沖縄県では、心身に障がいのある人とその家族が、心理リハビリテーション(動作法)を学ぶ勉強会を沖縄本島(西原町、名護市)、石垣市、宮古島市などで開催しています。本講座では、このような活動をサポートする専門家の方、当事者のご家族のための入門講座です。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門)、金城昇(琉球大学名誉教授)、金城志麻(琉球大学障がい学生支援室)						
	平山篤史・野村れいか(沖縄国際大学)、与那嶺司(沖縄統合医療学院)、						
	宮城茂(沖縄県立鏡が丘特別支援学校)、鳥養広(沖縄県立大平特別支援学校)、上原均(元八重山特別支援学校)						
	伊志嶺ユカリ(宮古島徳洲会病院)、我喜屋良行・高江洲慶(国立病院機構琉球病院)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
4月25日(土)	9:30～10:15	講義Ⅰ				古川卓	
	10:30～11:30	講義Ⅱ				金城昇	
	11:30～12:30	ランチンセミナー(※障がい児者の家族限定です。対象でない方は昼食休憩です。)				金城志麻	
	13:00～16:30	バズセッション(実技講習)				全講師	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙A3判ひと㍻、A4判ひと㍻						
	合 計						円
⑰ 備 考	会場は机椅子を置かず、セラピーマット(弾力性のあるマット)を敷き詰めた状態で行います。午後のバズセッションでは、10名程度で小グループを作り、動作法の実習(ロールプレイ)を行います。仰臥位、側臥位で行う課題もありますので、実習に適した動きやすい服装でご参加ください。なお、当日保険料として500円(予価)を受付で徴収いたします。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法)Ⅰ						
② 講座の種類	一般 ・ ☒ 専門	③ 受講対象者	特別支援教育担当教員、公認心理師、介護施設職員など	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	☒ 要 ☐ 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	琉球大学保健管理センター					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	①. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	イ) 福祉的配慮が必要な方を対象とする講座			
	一部無料	全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	☒ 有 ・ ☐ 無	⑪ 材料費等の金額		円 ⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	障がい者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、特別支援学校教員・特別支援教育担当者、福祉施設や医療機関の専門家(臨床心理士、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなど)を対象に、理論の講義と実技を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、障がい者とその家族は当事者として動作法を学ぶ。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
5月11日(月)・18日(月)・25日(月)	17:30~19:30	講義、実習、討論				古川卓	
6月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・29日(月)	〃	〃				〃	
7月6日(月)	〃	〃				〃	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙A3判ひと〆、A4判ひと〆						
	合 計						円
⑰ 備 考	障がい者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、特別支援学校教員・特別支援教育担当者、福祉施設や医療機関の専門家(臨床心理士、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなど)を対象に、理論の講義と実技を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、障がい者とその家族は当事者として動作法を学ぶ。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法)Ⅱ						
② 講座の種類	一般 ・ ☒ 専門	③ 受講対象者	特別支援教育担当教員、公認心理師、介護施設職員など	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	☒ 要 ☐ 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	琉球大学保健管理センター					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	①. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	イ) 福祉的配慮が必要な方を対象とする講座			
	一部無料	全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	☒ 有 ・ ☐ 無	⑪ 材料費等の金額		円	⑫ 材料費等の内訳		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	障がい者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、特別支援学校教員・特別支援教育担当者、福祉施設や医療機関の専門家(臨床心理士、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなど)を対象に、理論の講義と実技を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、障がい者とその家族は当事者として動作法を学ぶ。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
10月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)	17:30～19:30	講義、実習、討論					古川卓
11月2日(月)・9日(月)・16日(月)・30日(月)	〃	〃					〃
12月14日(月)	〃	〃					〃
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙A3判ひと〆、A4判ひと〆						
	合 計						円
⑰ 備 考	障がい者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、特別支援学校教員・特別支援教育担当者、福祉施設や医療機関の専門家(臨床心理士、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなど)を対象に、理論の講義と実技を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、障がい者とその家族は当事者として動作法を学ぶ。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法)キャンプin石垣島						
② 講座の種類	一般・ ☒ 専門	③ 受講対象者	(有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族	④ 募集人数	(有料)10人 (無料)20人	⑤ 修了証の発行	要・ ☒ 不要
⑥ 共催など	NPO法人 ちゅらハウス(共催) / 沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	NPO法人 ちゅらハウス					⑧ サテライト配信	可・ ☒ 否
⑨ 受講料	① 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円	全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 材料費等の有無	☒ 有・無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	八重山地区で障害児・者の援助を行っている専門家(教育、福祉、医療)に、障害児・者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、理論の講義と実技、ならびに臨床実習を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、地域の障害児とその家族に対し、個別的に指導を行う。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
	上原均(元沖縄県立八重山特別支援学校・教諭)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
7月11日(土)	10:00～16:00	講義、実習、討論				全講師	
7月12日(日)	10:00～16:00	実習、討論				全講師	
						全講師	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙代等1,500円 旅費1人×50,000円(航空運賃)+1人×8,000円(宿泊)×2泊=67,500円 会場使用料(未定)						
	合 計			67,500+会場使用料			円
⑰ 備 考	参加者は期間中、講座に協力する障がい者の担当インストラクターとなります。動作練習を行いますので動きやすい服装で参加してください。なお、保険料として1,500円程度ご負担いただきます。また、補助テキストは2,200円です(希望者のみ)。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法)キャンプin宮古島						
② 講座の種類	一般・ ☒ 専門	③ 受講対象者	(有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族	④ 募集人数	(有料)10人 (無料)20人	⑤ 修了証の発行	要・ ☒ 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	沖縄県立宮古特別支援学校(交渉中)					⑧ サテライト配信	可・ ☒ 否
⑨ 受講料	① 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	☒ 有・無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	宮古島地区で障がい児・者の援助を行っている専門家(教育、福祉、医療)に、障碍児・者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、理論の講義と実技、ならびに臨床実習を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、地域の障がい児とその家族に対し、個別的に指導を行う。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
	伊志嶺ユカリ(宮古島徳洲会病院・理学療法士・公認心理師)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
7月27日(月)	10:00～16:00	講義、実習、討論				全講師	
7月28日(火)	10:00～16:00	実習、討論				全講師	
7月29日(水)	10:00～12:00	実習、討論				全講師	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙代等1,500円 旅費1人×46,000円(航空運賃)+1人×8,000円(宿泊)×3泊=70,000円 会場使用料(未定)						
	合 計			71,500+会場使用料			円
⑰ 備 考	参加者は期間中、講座に協力する障がい者の担当インストラクターとなります。動作練習を行いますので動きやすい服装で参加してください。なお、保険料として1,500円程度ご負担いただきます。また、補助テキストは2,200円です(希望者のみ)。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	自立活動に活かす動作法出前講座in那覇特別支援学校						
② 講座の種類	一般 ・ ☒ 専門	③ 受講対象者	特別支援学校児童生徒とその家族および教職員	④ 募集人数	未定	⑤ 修了証の発行	要 ・ ☒ 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	沖縄県立那覇特別支援学校					⑧ サテライト配信	可 ・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有 ・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	心理リハビリテーション(動作法)は、特別支援学校の教科の一つである「自立活動」に取り入れられている方法のひとつである。本講座では、動作法の実践を行っている沖縄県立那覇特別支援学校に講師が訪問し、「自立活動」の時間に希望する児童生徒とその保護者、教員に向けて動作法の実践を指導する出前講座である。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
5月(調整中)	9:30～15:00	動作法の指導方法に関する助言				古川卓	
9月(調整中)	9:30～15:00	動作法の指導方法に関する助言				古川卓	
9月(調整中)	9:30～15:00	動作法の指導方法に関する助言				古川卓	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳							
	合 計					円	
⑰ 備 考	沖縄県立那覇特別支援学校の児童生徒と保護者、教員を対象とした講座ですので、原則は本校関係者とします。他の学校から参加を希望なされる場合は、事前に沖縄県立那覇特別支援学校にお問い合わせください。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	自立活動に活かす動作法出前講座in泡瀬特別支援学校						
② 講座の種類	一般・ ☒ 専門	③ 受講対象者	特別支援学校児童生徒とその家族および教職員	④ 募集人数	未定	⑤ 修了証の発行	要・ ☒ 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	沖縄県立泡瀬特別支援学校					⑧ サテライト配信	可・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. ☒ 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	心理リハビリテーション(動作法)は、特別支援学校の教科の一つである「自立活動」に取り入れられている方法のひとつである。本講座では、動作法の実践を行っている沖縄県立泡瀬特別支援学校に講師が訪問し、「自立活動」の時間に希望する児童生徒とその保護者、教員に向けて動作法の実践を指導する出前講座である。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
8月(調整中)	9:30～15:00	動作法の指導方法に関する助言				古川卓	
9月(調整中)	9:30～15:00	動作法の指導方法に関する助言				古川卓	
						古川卓	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳							
	合 計					円	
⑰ 備 考	沖縄県立泡瀬特別支援学校の児童生徒と保護者、教員を対象とした講座ですので、原則は本校関係者とします。他の学校から参加を希望なされる場合は、事前に沖縄県立泡瀬特別支援学校にお問い合わせください。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	自立活動に活かす動作法出前講座in鏡が丘特別支援学校						
② 講座の種類	一般・ ☒ 専門	③ 受講対象者	特別支援学校児童生徒とその家族および教職員	④ 募集人数	未定	⑤ 修了証の発行	要・ ☒ 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	沖縄県立鏡が丘特別支援学校					⑧ サテライト配信	可・ ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) ☒ 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	有・ ☒ 無	⑪ 材料費等の金額		円 ⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	心理リハビリテーション(動作法)は、特別支援学校の教科の一つである「自立活動」に取り入れられている方法のひとつである。本講座では、動作法の実践を行っている沖縄県立鏡が丘特別支援学校に講師が訪問し、「自立活動」の時間に希望する児童生徒とその保護者、教員に向けて動作法の実践を指導する出前講座である。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
10月(調整中)	9:30～12:00	動作法の指導方法に関する助言				古川卓	
10月(調整中)	9:30～12:00	動作法の指導方法に関する助言				古川卓	
1月(調整中)	9:30～12:00	動作法の指導方法に関する助言				古川卓	
⑯ 必要経費希望額の積算内訳							
	合 計						円
⑰ 備 考	鏡が丘特別支援学校の児童生徒とその保護者、特別支援学校教職員を対象とした出前講座です。						

令和二年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構保健管理部門

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法)キャンプin名護					
② 講座の種類	一般・ ☒ 専門	③ 受講対象者	(有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族	④ 募集人数	(有料)5人 (無料)10人	⑤ 修了証の発行 ☒ 要・不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)					
⑦ 会場	沖縄県立名護青少年の家(申請予定)				⑧ サテライト配信	可・ ☒ 否
⑨ 受講料	① 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	イ) 福祉的配慮が必要な方を対象とする講座		
	0円					
⑩ 材料費等の有無	☒ 有・無	⑪ 材料費等の金額	円	⑫ 材料費等の内訳		
⑬ 講座の開設趣旨・内容等	沖縄本島中北部で障碍児・者の援助を行っている専門家(教育、福祉、医療)に、障碍児・者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、理論の講義と実技、ならびに臨床実習を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、地域の障碍児とその家族に対し、個別的に指導を行う。					
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)					
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)					
	我喜屋良行(国立病院機構琉球病院・公認心理士)					
	鳥養広(沖縄県立大平特別支援学校)					
⑮ プ ロ グ ラ ム						
実施日	時間	講座内容				担当講師
10月(調整中)	13:00～17:00	講義、実習、討論				全講師
10月(調整中)	10:00～13:00	実習、討論				全講師
⑯ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙代等1,500円 会場使用料(未定)					
	合 計			1,500+会場使用料		円
⑰ 備 考	参加者は期間中、講座に協力する障がい者の担当インストラクターとなります。動作練習を行いますので動きやすい服装で参加してください。なお、保険料として1,500円程度ご負担いただきます。また、補助テキストは2,200円です(希望者のみ)。					

令和二年度公開講座実施計画書

部局名:グローバル教育支援機構 国際教育センター

① 講座名	ドイツの学校で行われている「民主的シティズンシップ教育」						
② 講座の種類	☒ 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	中学生～高校生	④ 募集人数	20～40 人	⑤ 修了証の発行	不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	学内／学外(依頼先の中学校・高校等) , 希望により出前講義の調整が可能					⑧ サテライト配信	可 ☒ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由 → 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 材料費等の有無	無	⑪ 材料費等の金額	0円	⑫ 材料費等の内訳			
⑬ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:これからのグローバル社会を主体的に生きるためにはどんな能力が必要でしょうか。一緒に考えてみましょう。 内容:ドイツの学校教育で行われている「民主的シティズンシップ教育」の紹介を行います。皆さんと同じくらいの学年の人がどんな様子かみて自分たちと比べてみましょう。						
⑭ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	☒ 名嶋義直(グローバル教育支援機構 国際教育センター・教授)						
⑮ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
調整可能	調整可能	ドイツの学校教育で行われている「民主的シティズンシップ教育」の紹介					名嶋義直
⑯ 必要経費希望額の 積算内訳	その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円						
	合 計			5,000			円
⑰ 備 考	複数の学校等からご依頼があれば調整の上, 1校ごとに個別で開催いたします。学外の中学校・高校を会場にした開催をご希望の場合, 遠方ですと交通費のみご負担をお願いすることがあります。						

平成30年度共同研究実績一覧

番号	部局等	研究代表者		共同研究件数 (総数)	当該年度受入金額 (総額) 単位：円	備考
		職	学科／講座等			
1	教育学部	教授	理科教育／物理	4	0	
2	教育学部	教授	理科教育／有機化学・海洋天然化学	4	2,150,000	
3	教育学部	准教授	特別支援教育／特別支援教育学	1	6,000,000	
4	教育学部	准教授	理科教育／無機化学・有機金属化学	1	200,000	
5	理学部	教授	海洋自然科学科化学系／海洋化学,天然物化学	1	0	費用負担なし
6	理学部	教授	海洋自然科学科生物系／海洋生物生産学,サンゴ礁生物生理学	1	990,000	
7	理学部	助教	海洋自然科学科生物系／熱帯生命機能学,藻類細胞生物学	1	650,000	
8	理学部	教授	物質地球科学科物理系／物質基礎学,物性理論	1	0	費用負担なし
9	理学部	准教授	物質地球科学科物理系／物質情報学,固体物性	1	0	費用負担なし
10	工学部	教授	工学科／エネルギー環境工学コース	6	2,662,287	
11	工学部	教授	工学科／電子情報通信コース	4	7,298,000	
12	工学部	教授	工学科／エネルギー環境工学コース	3	500,000	
13	工学部	教授	工学科／電気システム工学コース	3	3,370,000	
14	工学部	助教	工学科／機械工学コース	3	2,300,000	
15	工学部	教授	工学科／知能情報コース	2	844,000	
16	工学部	准教授	工学科／社会基盤デザインコース	2	540,000	
17	工学部	教授	工学科／知能情報コース	2	4,200,000	
18	工学部	教授	工学科／社会基盤デザインコース	1	1,000,000	
19	工学部	准教授	工学科／社会基盤デザインコース	1	0	
20	工学部	教授	工学科／電気システム工学コース	1	250,000	
21	工学部	教授	工学科／機械工学コース	1	1,100,000	
22	工学部	准教授	工学科／社会基盤デザインコース	1	6,000,000	
23	工学部	教授	工学科／建築学コース	1	1,500,000	
24	工学部	准教授	工学科／社会基盤デザインコース	1	1,000,000	
25	工学部	教授	工学科／知能情報コース	1	0	
26	農学部	教授	亜熱帯生物資源科学科／生物機能開発学分野	5	1,100,000	
27	農学部	教授	地域農業工学科／バイオシステム工学分野	4	20,001,740	
28	農学部	教授	亜熱帯生物資源科学科／発酵・生命科学分野	4	4,246,400	
29	農学部	教授	地域農業工学科／農村環境保全・防災学分野	4	740,000	
30	農学部	准教授	亜熱帯農林環境科学科／植物機能科学分野	3	3,642,000	
31	農学部	准教授	亜熱帯生物資源科学科／発酵・生命科学分野	3	0	
32	農学部	教授	地域農業工学科／農村環境保全・防災学分野	2	2,000,000	
33	農学部	教授	亜熱帯農林環境科学科／植物機能科学分野	2	1,518,000	
34	農学部	准教授	亜熱帯農林環境科学科／生態環境科学分野	2	1,110,000	
35	農学部	准教授	亜熱帯生物資源科学科／食品機能科学分野	2	540,000	
36	農学部	教授	亜熱帯地域農学科／農林共生科学分野	2	0	
37	農学部	教授	亜熱帯農林環境科学科／森林環境科学分野	1	0	
38	農学部	助教	亜熱帯農林環境科学科／森林環境科学分野	1	500,000	
39	農学部	准教授	亜熱帯生物資源科学科／生物機能開発学分野	1	150,000	

平成30年度共同研究実績一覧

番号	部局等	研究代表者		共同研究件数 (総数)	当該年度受入金額 (総額) 単位：円	備考
		職	学科／講座等			
40	農学部	准教授	亜熱帯農林環境科学科／動物機能科学分野	1	0	費用負担なし
41	農学部	教授	地域農業工学科／農村環境・基盤環境学分野	1	0	
42	農学部	教授	亜熱帯農林環境科学科／植物機能科学分野	1	1,080,000	
43	農学部	助教	亜熱帯地域農学科／農林共生科学分野	1	0	費用負担なし
44	農学部	教授	亜熱帯生物資源科学科／健康栄養科学分野	1	500,000	
45	熱帯生物圏研究センター	教授	熱帯生物圏研究センター／遺伝資源応用学	3	1,000,000	
46	熱帯生物圏研究センター	教授	熱帯生物圏研究センター／感染免疫制御学	2	562,000	
47	熱帯生物圏研究センター	准教授	熱帯生物圏研究センター／分子感染防御学	1	1,500,000	
48	熱帯生物圏研究センター	准教授	熱帯生物圏研究センター／環境生命情報学	1	6,432,000	
49	熱帯生物圏研究センター	教授	熱帯生物圏研究センター／分子感染防御学	1	1,500,000	
50	熱帯生物圏研究センター	助教	熱帯生物圏研究センター／遺伝子機能解析学	1	0	費用負担なし
51	資料館（風樹館）	教務職員	博物館（風樹館）／博物館職員	1	0	
52	医学部	教授	大学院医学研究科／免疫学講座	7	17,836,016	
53	医学部	教授	大学院医学研究科／内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	6	0	
54	医学部	教授	大学院医学研究科／寄生虫・免疫病因病態学講座	4	1,972,000	
55	医学部	准教授	保健学科／生体検査学講座	3	900,000	
56	医学部	教授	大学院医学研究科／分子解剖学講座	3	0	
57	医学部	医学部部長	大学院医学研究科／分子・細胞生理学講座	3	0	費用負担なし
58	医学部	教授	大学院医学研究科／循環器・腎臓・神経内科学講座	2	0	費用負担なし
59	医学部	教授	大学院医学研究科／細胞病理学講座	2	3,000,000	
60	医学部	教授	保健学科／病態検査学講座	2	3,000,000	
61	医学部	准教授	附属動物実験施設／分子解剖学講座	1	432,000	
62	医学部	助教	保健学科／生体検査学講座	1	0	費用負担なし
63	医学部	准教授	附属実験実習機器センター	1	932,000	
64	医学部	教授	大学院医学研究科／麻酔科学講座	1	1,000,000	
65	医学部	教授	大学院医学研究科／医化学講座	1	0	費用負担なし
66	医学部	准教授	大学院医学研究科／人体解剖学講座	1	0	費用負担なし
67	医学部	教授	大学院医学研究科／耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	1	432,000	
68	医学部	教授	大学院医学研究科／皮膚科学講座	1	0	費用負担なし
69	医学部	教授	大学院医学研究科／感染症・呼吸器・消化器内科学講座	1	0	
70	医学部	教授	大学院医学研究科／眼科学講座	1	432,000	
71	医学部	助教	大学院医学研究科／寄生虫・免疫病因病態学講座	1	0	費用負担なし
72	医学部	教授	大学院医学研究科／放射線診断治療学講座	1	13,200,000	
73	医学部	教授	大学院医学研究科／生化学講座	1	432,000	
74	医学部	教授	大学院医学研究科／腫瘍病理学講座	1	864,000	
75	医学部	教授	大学院医学研究科／放射線診断治療学講座	1	324,000	
76	附属病院	講師	放射線科	2	400,000	
77	附属病院	准教授	血液浄化療法部	1	5,673,240	
78	附属病院	特命教授	形成外科	1	432,000	

令和2年2月10日以降 各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について

※前回からの追記事項は赤字入力

組織名	主要事項
地域連携企画室	○目的別人材育成プログラムの開発・実施 ・IoTシステムセキュリティ実践講座（7/20（土）～2/15（土）全4回）
	○2019年度学長特別政策経費重点施策推進枠事業の遂行 共同研究セミナー 日時：3月4日（水）13：00-14：30 場所：工学部1号館222教室
	○琉球大学地域連携FD・SD 研修会の開催
	○地域協働プロジェクト推進事業の遂行
	○地域連携推進機構の機能強化に向けた体制整備についての検討 （地域連携に関するワンストップ窓口機能の整理含む）
	○交流人材バンク設置に向けた検討（機能、体制、規則等）
	○包括連携協定締結に向けた検討・調整 ・大阪市港区 ※調整中 ・沖縄県中小企業家同友会 ※調整中
	○宜野湾市議会とのパートナーシップ協定の検討・調整
産学官連携部門	○沖縄県「イノベーション創出人材育成事業」の遂行 DIVE INTO2020開催（OKINAWA Startup Festatなどとの同時開催） 日時：2月6日（木）13：00～ 場所：沖縄コンベンションセンター会議棟
	○沖縄県「沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業」の遂行
	○産学官金スタートアップ支援事業の遂行
	○琉球大学ブランド商品開発支援事業の遂行
	○九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金の支援
	○2019年度学長特別政策経費重点施策推進枠事業の遂行 同上
生涯学習推進部門	○地域創生副専攻の運営
	○地域共創型学生プロジェクト「ちゅらプロ」（学内公募）の実施
	○正課外地域実践プロジェクト（学内公募）の実施
	○地域共創による地域志向実習（久米島、宮古島、石垣、うるま、南城、宜野湾、西原）
	○「知のふるさと納税」（八重山9/17～9/18、久米島9/24～9/25）の報告書作成
	○地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）フォローアップに係る現地視察（12/13 13：00～）

地域連携推進機構運営会議 委員名簿

(令和元年11月11日時点)

	所属・職名	氏名	区分	備考
1	機構長 (理事・副学長(地域・社会連携担当))	うしくぼ きよし 牛窪 潔	1号委員	議長
2	副機構長 兼 産学官連携部門長 (副学長・副理事(産学官連携担当))	たけむら あきひろ 竹村 明洋	2号委員	議長代行
3	地域連携企画室長 (生涯学習推進部門 教授)	せ と ひろふみ 背戸 博史	3号委員	
4	生涯学習推進部門長 (生涯学習推進部門 教授)	せ と ひろふみ 背戸 博史	4号委員	
5	生涯学習推進部門 准教授	しばた さとし 柴田 聡史	5号委員	専任教員
6	地域連携企画室 特命准教授	こじま はじめ 小島 肇	6号委員	特任教員
7	地域連携企画室 特命准教授	しまぶくろ あきみち 島袋 亮道	6号委員	特任教員
8	地域連携企画室 特命准教授	はたなか ひろし 畑中 寛	6号委員	特任教員
9	産学官連携部門 教授 (工学部 教授)	せ な は いずる 瀬名波 出	7号委員	併任教員 (任期:2019年4月1日～)
10	産学官連携部門 教授 (理学部 教授)	まえひら たかひろ 眞榮平 孝裕	7号委員	併任教員 (任期:2019年4月1日～)
11	総合企画戦略部長	につた さなえ 新田 早苗	9号委員	
12	総合企画戦略部 地域連携推進課長	きんじょう とおる 金城 徹	10号委員	
13				
14				

国立大学法人琉球大学地域連携推進機構規則

平成 28 年 2 月 23 日
制 定

(趣旨)

第 1 条 この規則は、国立大学法人琉球大学組織規則第 16 条第 2 項の規定に基づき、国立大学法人琉球大学地域連携推進機構(以下「機構」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第 2 条 機構は、国立大学法人琉球大学(以下「本法人」という。)における地域連携、産学官連携及び生涯学習推進に関わる戦略を全学的かつ一体的な観点から確立し、地域社会における人材の育成、産業振興に貢献するとともに地域連携の諸活動を通して本法人における教育研究活動の活性化を図ることを目的とする。

(部門等)

第 3 条 前条の目的を達成するため、機構に次の室、部門、系及びセンターを置く。

- (1) 地域連携企画室
- (2) 産学官連携部門
 - ア 研究開発支援系
 - イ 知的財産系
 - ウ 起業支援系
- (3) 生涯学習推進部門
 - ア 社会教育系
 - イ 地域志向教育系
- 2 前項 1 号の地域連携企画室に交流人材センターを置く。
- 3 交流人材センターに関し必要な事項は、別に定める。

(業務)

第 4 条 機構においては、次に掲げる業務を行う。

- (1) 地域連携企画室
 - ア 機構全体の統括、方向性に関すること。
 - イ 機構内の組織間の協働体制の構築に関すること。
 - ウ 機構とグローバル教育支援機構、研究推進機構及び学部・研究科等との協働体制の構築に関すること。
 - エ 機構と産学官をはじめとする多様な組織との協働体制の構築に関すること。
 - オ 学内外への地域連携に係る広報戦略策定と実施に関すること。
 - カ 産学官民からの協力要請及び要望等に関する総合窓口に関すること。
- (2) 産学官連携部門
 - ア 民間機関等との共同研究、受託研究その他研究開発の支援に関すること。
 - イ 民間機関等の技術者及び学生等への技術教育の実施及び援助に関すること。
 - ウ 知的財産の創生、内容評価、特許出願、管理及び活用に関すること。
 - エ 知的財産の契約及び係争に関すること。
 - オ 知的財産の補償、表彰及び啓発普及に関すること。
 - カ 知的財産の技術移転に関すること。
 - キ 知的財産及びノウハウを活用した大学発ベンチャーの起業支援に関すること。
 - ク その他産学官連携の推進に関すること。

(3) 生涯学習推進部門

- ア 生涯学習体系に資する教育・研究に関する事。
- イ 公開講座及び公開授業の計画・実施の支援に関する事。
- ウ 本法人が有する生涯学習に資する機能の開放に関する事。
- エ 地域志向教育の推進に関する事。
- オ 地域人材の育成に関する事。
- カ 他の教育機関及び地域の生涯学習機関等との連携・協力に関する事。
- キ その他生涯学習に関する事。

(組織)

第5条 機構に、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 機構長
- (2) 副機構長
- (3) 室長
- (4) 部門長
- (5) 専任教員
- (6) 特任教員
- (7) 併任教員
- (8) コーディネーター
- (9) その他の職員

(機構長)

第6条 機構に、機構長を置き、地域連携を担当する理事をもって充てる。

- 2 機構長は、機構の業務を掌理し、統括する。

(副機構長)

第7条 副機構長は、機構長の職を補佐するとともに、機構長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。

- 2 副機構長は、本法人の副理事又は教員の中から機構長の推薦に基づき、学長が任命する。
- 3 副機構長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(室長)

第8条 室長は、当該室の業務を掌理するとともに、機構長の職務を補佐する。

- 2 室長は、本法人の教員の中から機構長の推薦に基づき学長が任命する。
- 3 室長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、室長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(部門長)

第9条 部門長は、当該部門の業務を掌理するとともに、機構長の職務を補佐する。

- 2 部門長は、本法人の教員の中から機構長の推薦に基づき学長が任命する。
- 3 部門長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、部門長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(地域連携推進会議)

第10条 機構の運営並びに全学の地域貢献及び地域連携等に関する事項を審議するため、地域連携推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

2 推進会議に関し必要な事項は、別に定める。

(地域連携推進協議会)

第11条 機構に対する評価・助言等を行うため、地域連携推進協議会を置く。

2 地域連携推進協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(運営会議)

第12条 機構の運営に関わる基本方針の策定を行うため、地域連携推進機構運営会議（以下「運営会議」という。）を置く。

(審議事項)

第13条 運営会議は、次に掲げる事項の基本方針の策定について審議する。

- (1) 機構の管理運営に関すること。
- (2) 機構の教員人事（教員選考に係る部分を除く。）に関すること。
- (3) 機構の事業計画に関すること。
- (4) その他機構に関すること。

(運営会議の組織)

第14条 運営会議は、次に掲げる委員で構成する。

- (1) 機構長
- (2) 副機構長
- (3) 室長
- (4) 部門長
- (5) 専任教員
- (6) 特任教員
- (7) 機構長が指名する併任教員 若干人
- (8) コーディネーター
- (9) 総合企画戦略部長
- (10) 地域連携推進課長
- (11) その他機構長が必要と認めた者

2 前項第7号及び第11号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長)

第15条 運営会議に議長を置き、機構長をもって充てる。

2 議長は運営会議を招集し、主宰する。

3 議長に事故があるとき又は欠けたときは、副機構長がその職務を代行する。

(議事)

第16条 運営会議は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 議長が必要と認めるときは、委員以外の者を運営会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第17条 機構に専門的事項を審議するため、専門委員会を置くことができる。

(事務)

第18条 機構に関する事務は、総合企画戦略部地域連携推進課において処理する。

(雑則)

第19条 この規則に定めるもののほか、機構の運営に関し必要な事項は、推進会議の承認を得て機構長が別に定める。

(改廃)

第20条 この規則の改廃は、推進会議の議を経て学長が行う。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 琉球大学産学官連携推進規則（平成20年4月22日制定）は、廃止する。
- 3 琉球大学生涯学習教育研究センター規則（平成9年3月25日制定）は、廃止する。
- 4 琉球大学地域貢献推進委員会規程（平成14年6月25日制定）は、廃止する。

附 則（平成30年3月30日）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

令和元年度第 1 9 回 地域連携推進機構運営会議 座席表

令和 2 年 1 月 2 0 日（月） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
（本部管理棟 2 階 第二会議室）

